



**RADAR
DETECTOR**

ワンボディータイプ GPS レーダーディテクター

TZ-R001A[®]

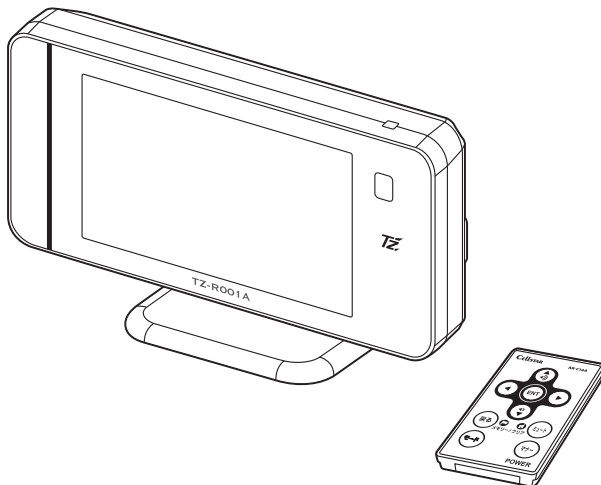
取扱説明書

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

本機は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。

速度の出しすぎに注意して走行してください。

また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。



Copyright © 2016 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.
Cellstar および ASSURA は、セルスター工業株式会社の登録商標です。
microSD[™]はSDアソシエーションの登録商標です。
microSD Logoは登録商標です。
その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

* 本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮した大豆油インクを使用しております。

micro
SD



CELLSTAR[®]

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

もくじ

はじめに

相互通信対応ドライブレコーダーとの接続	4
相互通信機能について	4
準備	4
ドライブレコーダーとの接続	4
安全上の注意	5
使用上の注意	6
付属品の確認	8
付属品	8
オプション品	8
各部の名称と機能	9
本体	9
リモコン	9

取り付け

本体の取り付け方	10
マウントベースを使って取り付ける場合	10
ダッシュボードへ直接取り付ける場合	11
電源の取り方	12
ヒューズボックスから電源を取る場合	12
ACC線から直接電源を取る場合	12
リモコンの取り付け方	13
リモコン用電池の装着方法	13
リモコンの取り付け方法	13
microSDカードの使用方法	14
microSDカードの挿入	14
microSDカードの取り出し	14

基本操作

基本的な操作方法	15
電源を入れる	15
オープニング画面について	15
電源を切る	15
リモコンの操作	16
音量の調整	16
設定モードの切り替え（モードセレクト）	16
設定チェック機能	17

画面の説明

待受画面の見方	18
待受画面	18
待受画面（カスタム）	19
待受画面	20
待受画面のカスタマイズ機能	21
待受テーマカラーの変更	21
待受テーマカラーの変更方法	21
表示項目の変更	22
表示項目の変更方法	22
待受画面のカスタマイズ情報表示リスト/ データリセット条件一覧	23
警告案内画面の見方	29
取締機の警告の動き	29
各種GPS警告案内例	30
速度取締機などの警告動作	30
警告の種類と内容	31
GPS警告	31
各種無線警告	36
レーダー警告	37

各種設定

各種設定の変更	38
機能設定一覧	40
基本設定一覧	44
OBDⅡ設定一覧	52
外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）一覧	54

もっと使いこなす

GPSを利用した機能	56
GPS測位について	56
GPS警告ポイントの消去	56
GPS警告ポイントの消去方法	56
GPS警告ポイント消去機能のリセット	56
ユーザーメモリセレクト	57
ユーザーメモリの記録	57
ユーザーメモリの個別消去	57
ユーザーメモリの全消去	57

レーダーキャンセルエリア	58
レーダーキャンセルエリアの記録	58
レーダーキャンセルエリアの確認	58
レーダーキャンセルエリアの個別消去	58
レーダーキャンセルエリアの全消去	58
公開交通取締情報表示機能	58
常時テロップ表示	58
GPSスポット追加機能	59
GPSスポットの追加	59
GPSスポットの全消去	60
各種データのバージョン確認	60
走行ログの記録と転送	60
走行ログの記録を開始	60
走行ログをmicroSDカードに転送	60
GPSデータ更新	61
速度取締機回避アナウンス	61
速度取締機制限速度超過警告	62
取締機前下り坂警告	62
通過速度履歴確認機能	62
高速道ガソリンスタンド価格案内機能	62
リマインダー機能	63
リマインダーの設定	63
音の設定	64
警告音のミュート	64
アナウンス設定 (女性/男性)	64
マナーモード	64
その他の機能	65
スキップメモリ	65
スキップメモリの設定	65
スキップメモリの全消去	65
ワンスキップ	65
テロップ表示機能	65
地図表示の切り替え	66
地図の縮尺の切り替え	66
ロード自動選択一時切り替え	66
反則金データベース表示機能	66
本体の初期化	67
ディマー機能	67
オートトーンダウン機能	67
レシーバーオートミュート機能	67
本体ソフトウェアの情報	67

外部入力 (モニター、ドライブレコーダー) を利用した機能	68
外部入力について	68
外部入力機器の接続方法	68
カメラの取り付け推奨位置について	68
外部入力 (モニター、ドライブレコーダー) の設定	69
ドライブレコーダー連携について	69
カメラの映像を使った警告案内について	69
スカウター表示 (画像認識) について	70
OBD II を利用した機能	71
OBD II について	71
OBD II の接続方法	71
車両メーカーの設定	72
ダミーセキュリティ機能	72
簡易故障診断の設定/実行	73
OBD II 満タン燃費補正	73
燃料補正の方法	73
無線LANを使ったデータ転送と更新	75
無線LANデータ転送と更新について	75
スマートフォンアプリを使ったデータ転送と更新	75
家庭内無線LANなどのアクセスポイント接続による自動更新	77
無線LAN通信間隔の設定	78
ASSURA+Link連動機能	79
お知らせ機能のテロップ表示	79
ASSURA+Linkに投稿されたポイントをアイコン表示する	79
アイコン表示するポイントの種類をフィルタリングする	80
ASSURA+Link連動アイコン一覧	80

困ったときは

故障かな?と思ったら	81
------------------	----

アフターサービス

アフターサービスについて	83
修理に関して	83
GPSデータの更新について	84
フルマップデータの更新について	84
MyCellstarについて	84
修理受付票	85

その他

各種規定について	86
仕様・定格	87

相互通信対応ドライブレコーダーとの接続

相互通信機能について

本機と当社製相互通信対応ドライブレコーダーを当社製レーダーデテクター相互通信コードで接続することにより、設定画面やカメラ映像及び再生映像を本機の画面に表示させることができ、本機のリモコンから操作できるようになります。また、GPSの位置情報や電源、OBD IIの速度データも本機より供給され、操作音も本機から出力されます。

- ・TZ-D001/CSD-500FHRIは本機からクイック録画の操作とOBD IIの速度データの供給はできません。

準備

本機能を使用するには、当社製相互通信対応ドライブレコーダーと当社製レーダーデテクター相互通信コードが必要です。

● レーダーデテクター相互通信コード



本機と相互通信対応ドライブレコーダーとの組み合わせによりオプションの接続コードが異なります。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp>

● 当社製相互通信対応ドライブレコーダー



※相互通信対応ドライブレコーダーは、左のアイコンを目印にお買い求めください。

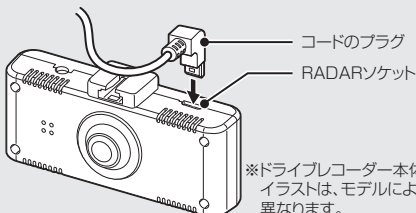
⚠ 注意

- ・セルスター製レーダーデテクター専用レーダーデテクター相互通信コードです。それ以外の製品に使用することはできません。
- ・レーダーデテクター相互通信コードは12V車専用です。ドライブレコーダーを24V車に接続した場合、本製品を取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ・レーダーデテクター相互通信コードを改造し使用すると、ドライブレコーダーやレーダーデテクターの故障の原因となります。
- ・レーダーデテクター相互通信コードのケーブルは地盤のアンテナ部分（ブースター及びアンテナ線）に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

ドライブレコーダーとの接続

1 本機のDCコードを外し、本機の電源をOFFにする。

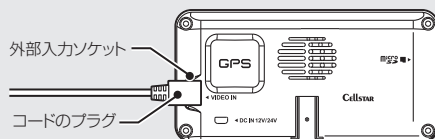
2 レーダーデテクター相互通信コードのプラグをドライブレコーダー本体のRADARソケットに差し込む。



※ドライブレコーダー本体のイラストは、モデルにより異なります。

・プラグの向きとソケットの向きに気を付けて差し込んでください。
・相互通信コードのプラグをドライブレコーダーのRADARソケット、レーダーデテクターの外部入力ソケットに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。隙間があると接続不良になり、映像出力やリモコン操作などができないことがあります。

3 レーダーデテクター相互通信コードのプラグを本機の外部入力ソケットに差し込む。



4 本機のDCコードを差し込み、本機の電源をONにする。

- ※ 本機から電源が供給されるため、ドライブレコーダーの起動に時間がかかる場合があります。

⚠ 注意

- ・レーダーデテクター相互通信コードで本機とドライブレコーダーを接続し、本機のリモコンで電源をON/OFFしても、ドライブレコーダーの電源は連動せず、供給し続けます。
- ・本機の電源をリモコンでOFFの状態からONにすると、ドライブレコーダーが再起動します。
- ・本機の電源をリモコンでOFFにすると、ドライブレコーダーへのGPS情報の供給がOFFになります。

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険

-  本機は DC12V/24V 専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。
-  走行中に本機の操作や画面の注視をしないでください。
* 交通事故の原因となります。
-  万一、故障した場合は、直ちに使用を中止してください。
* そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。
-  医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。
-  水につけたり、水をかけたり、また、ぬれた手で絶対に操作しないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
-  煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないでください。
* 発火して火災の原因となります。
-  改造車両には使用しないでください。

注意

-  気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
* 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。
-  穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
* 感電や故障の原因になります。
-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  夏の炎天下、真冬の駐車、湿度が高い場所ではできるだけ本機を取り外してください。
* 性能の劣化、本体の変形をまねく原因となります。
-  一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本機が鳴り続ける場合があります。
-  本機を取り付けている、いないの状態に関わらず、速度違反や駐車違反などに関して、当社では一切の責任を負いかねます。
-  microSD カードの挿入、取り出しをするときは、microSD カードスロットに顔を向けないでください。
* ケガの原因になります。

警告

-  運転や視界の妨げにならない場所、または自動車の機能（ブレーキ、ハンドルなど）の妨げにならない場所にに取り付けてください。
* 誤った取り付けは交通事故の原因となります。
-  エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください。
* ワンエアバッグが作動したとき、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。
-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。
* 感電やショートによる発火の原因となります。
-  本機は精密機器です。分解や改造は絶対に行わないでください。
* 発熱、火災、ケガの原因となります。
-  ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。

使用上の注意

■ 取り付けについて

- 取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いためにGPS、レーダー、各種無線の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。
- 本機は、防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 本機をフロントガラスに取り付けないでください。
- 本機は、車載の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETC、カメラ、アンテナ類など）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合やGPSを含む各種無線が受信できなくなる場合があります。また、本機の取り付け位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。その場合には、十分間隔をとって取り付けてください。
- 本機にセルスター製以外のDCコード、またはOBDⅡアダプターを取り付けしないでください。故障の原因となります。
- 一部の車種において付属のシガーライター用スイッチ付DCコードが、シガーライターソケットの形状に合わない場合があります。また禁煙車など、シガーソケットが装備されていない車の場合には、オプションの電源直結線用DCコード（RO-109）を使用してください。
- オプションの直結線用DCコードやOBDⅡアダプター（RO-116/RO-115）の車両への取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになった販売店などでの取り付けをお薦めします。
- 長期間車両を使用しない場合は、本機からDCコード、オプションのOBDⅡアダプターを使用している場合は車両からOBDⅡアダプターを取り外してください。

■ 各種GPS警告について

- 各種GPSデータは、当社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- 取締りポイントおよび待伏せエリアは、取締りの目撃情報をもとに登録されています。
- 凍結注意アナウンスは、当社独自調査による道路の凍結しやすい地点を冬季期間お知らせします。
- 事故多発エリアは警察庁、国土交通省の統計データにより集計されていますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。

■ 各種無線の受信について

- 受信内容を第三者に漏洩することは電波法により禁じられています。
- 各種無線の受信は、無線が使用され電波が出ている場合に限りです。また電波の状態によって受信状態が変化します。
- 受信電波がデジタル通信の場合は、音声聞くことができません。
- 一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる、変更されるなどの理由により受信することができない場合があります。
- レッカー無線は簡易業務用無線のため、同一チャンネル内の他業種無線を多く受信する場合があります。
- 新救急無線は、主に東京都内で使用されている救急無線です。

■ 各種警告案内について

- 本機は、高精度GPSデータをGPSの受信、トリプルセンサーで測位。レーダーを含む各種無線の受信から独自に計算して警告します。そのため、登録、記録されていない地点や、測位が不安定、未測位な場合、および各種無線が受信できない場合には、警告動作をおこなうことができません。また、警告内容と実際の状況などが異なる場合があります。
- 本機でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時

規制や時間帯で変化する速度規制には対応していません。

- 制限速度切り替わりポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切り替わりはお知らせしません。
- トンネル案内は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では案内しません。
- ロード自動選択機能は、現在の走行状態が一般道が高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によっては実際の状態と異なる設定となる場合があります。確実に警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。
- トンネル内取締機／トンネル出口案内は、トリプルセンサーにて自車位置を測位するため、実際と異なる場合があります。
- 本機でお知らせする飲酒運転警告案内は、飲酒運転をしないように注意を促すもので飲酒検問などをお知らせするものではありません。
- エコドライブについては当社独自の方法により算出しています。

■ レーダー受信について

- 設置されている速度取締機の中には稼働していないものもありです。この場合、レーダーを使用しての種類のであってもお知らせすることができない場合があります。
- 取締りレーダー以外でも、同一チャンネルなどの電波を受信し警告動作をする場合がありますが、誤動作ではありません。
- ステルス波の受信によるステルスアラームも、その性質上距離的余裕をもってお知らせすることができません。ステルスアラームが鳴ったときにはすでに計測されている場合があります。
- 大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーダーを受信しにくい状態になる場合があります。

■ カーロケーターシステムについて

- カーロケーターシステムはすべての警察関係車両に搭載されていません。また搭載されていても常時電波を発信していません。
- カーロケーターシステムの受信については、導入されていない、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

■ ディスプレイについて

- 待受画面など同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証対象になりません。スクリーンセーバー機能をオンにしたり、ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイの性質により、輝点や滅点が発生したりシジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証対象になりません。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- 偏光サンングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

■ アイドリングストップ車の使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本機の電源が落ちる場合があります。

■ 自車位置および走行速度などについて

- GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。

- ・最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

- ・自車位置は、GPSの受信、トリプルセンサーの動きで測定されます。高架下やトンネルなどでGPSからの受信が一時的に途切れても、自車位置を測定することができず、GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測定をおこなうことができません。

- ・本機で表示される車両の走行速度や傾斜計は、GPS、トリプルセンサーの測定から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。また運転中は必ず車両のスピードメーターで速度を確認してください。

- ・表示速度補正をおこなうと実際の走行速度にならない場合があります。

■ microSDカードについて

- ・付属のmicroSDカードを紛失、破損、誤ってデータを削除した場合、有償修理となります。

- ・本機は使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合がありますが、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- ・お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。
- ・microSD™はSDアソシエーションの商標です。

■ リモコンについて

- ・ダッシュボードの上など、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ・リモコンのボタンを爪やペンなど先の尖ったもので押さないでください。

■ フルマップについて

- ・フルマップデータのプロテクト処理により、付属のmicroSDカード以外でフルマップを表示することはできません。
- ・本機の電源を入れGPSを測定するまでの間、現在地が正しく表示しない場合があります。
- ・GPSとトリプルセンサーの測定状況によっては、自車位置が正しく表示しない場合があります。
- ・フルマップデータは株式会社ゼンリンの地図データを使用しています。
- ・収録内容が実際の道路状況と異なる場合があります。

■ 公開交通取締情報/高速道ガソリンスタンド価格案内について

- ・本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・公開交通取締情報/高速道ガソリンスタンド価格案内は一般公開されている情報をもとに、独自にデータ化しています。更新のタイミングによりデータ化が間に合わない場合や、地域によってデータ化に対応していない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・公開交通取締情報以外でも、各都道府県にて取締りを実施している場合があります。
- ・走行している場所によっては、表示するデータがあっても、正しい情報表示ができない場合があります。

■ 外部入力について

- ・外部接続カメラなどの外部入力（RCA）をおこなうにはオプションのコネクター変換ケーブル（RO-106）が必要になります。

- ・当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーを接続する場合、直接接続が可能なオプションのレーダーディテクター接続コードをご利用ください。

- ＊ 24V車では使用できません。

- ・RO-106を改造して使用すると、本機や外部接続機器の故障の原因となります。

- ・外部入力設定を「オン（モニター）」に設定して、外部機器の映像信号を検出するとすべての警告動作はオフになります。

■ フロントカメラについて

- ・オプションのフロントカメラ（RO-113/RO-114）は、24V車には取り付けられません。

■ MyCellstarについて

- ・「MyCellstar」でGPSデータ、スマート警告用画像、公開交通取締情報、高速道ガソリンスタンド価格案内をダウンロードする場合は、インターネットへの接続が可能な環境とmicroSDカードを読み書きできるパソコンが必要となります。

■ MyCellstar+Sync for Android/iOSについて

- ・スマートフォンは、メモリー状況、使用環境など様々な要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

■ OBD IIについて（オプション）

- ・オプションのOBD IIアダプター（RO-116/RO-115）を車両に取り付ける前に、当社ホームページ（<http://www.cellstar.co.jp>）よりOBD II 適合表を確認してください。OBD II 適合表にない車両には取り付けできません。
- ・一部のOEM車両などでは、車両メーカーと車両設定が合わない場合があります。
- ・OBD IIに取り付けたことによる車両や車載品の故障、事故など附随的損害については一切その責任を負いません。
- ・OBD IIアダプターを接続してエンジンをON/OFFにしても本機の電源ON/OFFにタイムラグが発生することがあります。

■ 無線LANについて

- ・本機の無線LANIに使用されている2.4GHz帯（周波数）は、Bluetooth、電子レンジ、医療機器などほかの製品にも使用されています。これらの製品と電波干渉が発生した場合、通信速度の低下やデータの損失、伝送距離の低下などが発生する場合があります。

■ 本体ソフトウェア更新について

- ・本体ソフトウェア更新をおこなう際は、本体の電源がOFFにならないようご注意ください。また、更新中はエンジンの停止やmicroSDカードの取り外しはおこなわないでください。

■ その他の注意について

- ・本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ・製品のデザインや仕様は、改良などのため予告なく変更する場合があります。
- ・本機に搭載されているコンテンツは、個人として使用する他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・本機の誤った取り扱いによる車両や車載品などの事故・破損・故障・損害などが発生しても当社では一切の責任を負いかねます。また保証なども一切ありません。
- ・本機は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも、速度の出しすぎや飲酒運転は絶対におやめください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道をお譲りください。

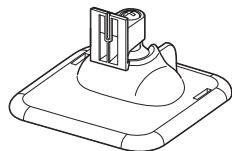
付属品の確認

付属品

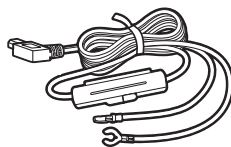
はじめに、同梱物の確認をおこなってください。

☐ 取扱説明書（本書）

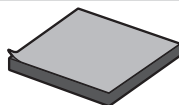
* その他注意書きが同梱している場合があります。



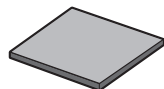
☐ マウントベース



☐ 直結配線用DCコード



☐ ダッシュボード取付用
ジェルマット



☐ ダッシュボード
取付用両面テープ



☐ 本体取付用
両面テープ



☐ microSDカード
(本体に挿入されています)



☐ リモコン



☐ リモコン取付用
固定テープ



☐ リモコン用電池
(CR2016)

オプション品

別途お買い求めください。

レーダーディテクター用

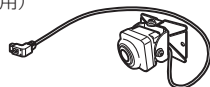
● RO-113 (12V車専用)

フロントカメラ
(3.5m)



● RO-114 (12V車専用)

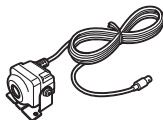
フロントカメラ
(0.3m)



● RO-112

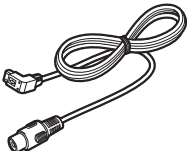
バックカメラ

* 別途RO-106が
必要になります。



● RO-106

コネクター
変換ケーブル

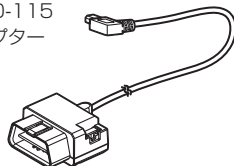


● RO-110

変換用コネクター
(DCプラグ用)

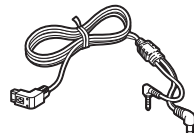


● RO-116/RO-115 OBD II アダプター



ドライブレコーダー接続用

● レーダーディテクター接続コード



● レーダーディテクター相互通信用コード



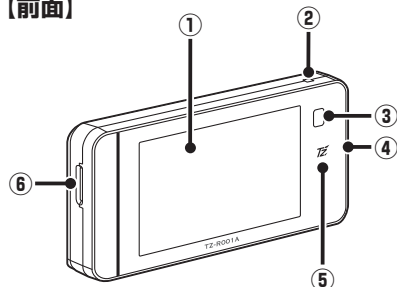
本機と相互通信対応ドライブレコーダーとの組み合わせによりオプションの接続コードが異なります。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp>

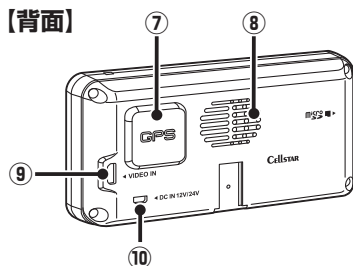
各部の名称と機能

本体

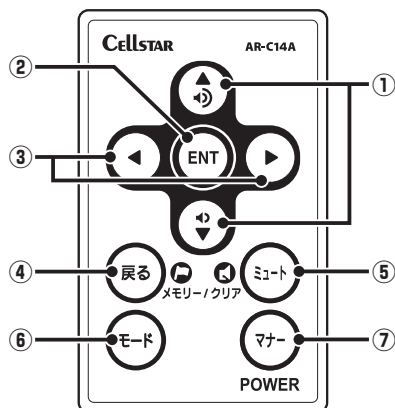
【前面】



【背面】



リモコン



- ① **ディスプレイ**
レーダー受信時、GPS 警告時、各種無線の受信時に警告案内画面などを表示します。
- ② **ダミーセキュリティ LEDランプ**
OBD II接続時に LED ランプを点滅させます。オプションの OBD IIアダプター (RO-116/RO-115) を使用して本機を接続する必要があります。
- ③ **赤外線受光部**
リモコンから送信される赤外線を受光します。
- ④ **無線LAN**
スマートフォン (Android/iOS) や家庭内無線 LAN のアクセスポイントなどからデータを受信し、本機の microSD カードに各種更新用データなどを転送 / ダウンロードできます。
- ⑤ **LEDイルミネーションランプ**
LED ランプを点灯します。色や点灯方法などを変更することもできます。
- ⑥ **microSDカードスロット**
音声警告、スマート警告、フルマップ機能などを使用するには付属の microSD カードを挿入します。
- ⑦ **GPS**
GPS、みちびき、グロナス、SBAS などの衛星を受信します。
- ⑧ **スピーカー**
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。
- ⑨ **外部入力ソケット**
オプションのコネクター変換ケーブル (RO-106) またはオプションのフロントカメラ (RO-113/RO-114) や当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーを接続します。
- ⑩ **DC12V/24Vソケット**
DC コードまたはオプションの OBD IIアダプター (RO-116/RO-115) を接続し、電源を本機に入力します。

- ① **▲▼ボタン**
音量を調整するときに使用します。また、各種設定変更時の設定内容切り替え、通過速度の確認、公開交通取締情報の表示などに使用します。
- ② **ENTボタン**
メインメニュー画面への切り替え / 設定操作の決定、待受画面のカスタマイズ、ワンスキップの操作をするときに使用します。
- ③ **◀▶ボタン**
待受画面の切り替えや設定メニューの選択時に使用します。
- ④ **戻るボタン**
外部入力設定画面への切り替えやユーザーメモリ機能、GPS 警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。また、各種設定の操作などを中止するときに使用します。
- ⑤ **ミュートボタン**
ミュート機能、レーダーキャンセルメモリなどを設定するときに使用します。
- ⑥ **モードボタン**
設定モードの切り替え (モードセレクト) や設定チェック、スキップメモリをするときに使用します。
- ⑦ **電源ボタン**
本体の電源を ON/OFF します。また、マナーモードの設定 (TZ-D001/CSD-500FHR を除く相互通信対応ドライブレコーダー接続時はクイック録画の動作となります。)、反則金データベースを表示するときに使用します。

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

本体の取り付け方

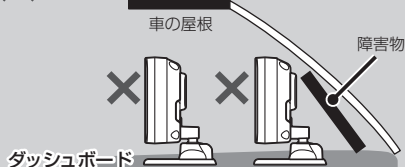
✓ アドバイス

- ・本機は上空からのGPS信号受信と前後方向からのレーダーを受信してお知らせします。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに、金属などの障害となるものがないように本体をお取り付けください。

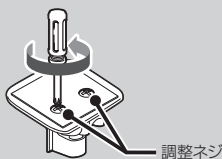
○ GPS信号、レーダーが届く場所



✕ GPS信号、レーダーが届かない場所

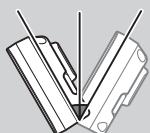


- ・マウントベースに装着した本体の向きがぐらつく場合は、マウントベースの調整ネジを締めることで、しっかりと本体を固定することができます。一度マウントベースから本体を取り外し、調整ネジをドライバーなどで締めなおしてください。



- ・本体を水平面に対して下図の角度の範囲内で取り付けない場合、Gセンサーやジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。

横から見た角度



30度～30度の範囲内

正面から見た角度

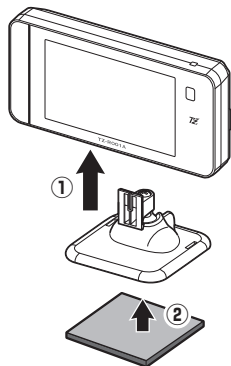


30度～-30度の範囲内

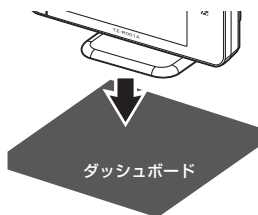
- ※ 範囲内で取り付けた場合、自動的にGセンサーやジャイロセンサーの補正をおこないます。
- ※ 常に一定方向のGを表示している場合、水平な場所で電源を入れなおしてください。

マウントベースを使って取り付ける場合

- 1 本体の底にマウントベースを装着し、マウントベースの裏面に、ダッシュボード取付用両面テープまたはダッシュボード取付用ジェルマットを貼り付ける



- 2 マウントベースをダッシュボードに貼り付ける



✓ アドバイス

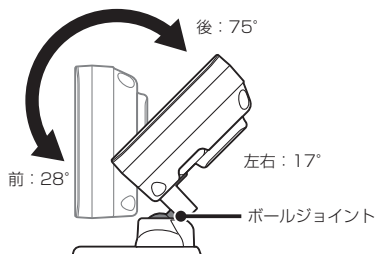
ジェルマットは剥がしても接着跡が残りにくく、粘着力が弱くなった場合、表面の汚れを洗い落とすことで粘着力が復活し、再使用することができます。傾斜している場所への取り付けなど、ジェルマット使用での取り付けが不安定になる場合は、付属の両面テープを使用して、確実に取り付けてください。

⚠ 注意

本機をフロントガラスに取り付けることは、道路運送車両法の保安基準により禁止されています。

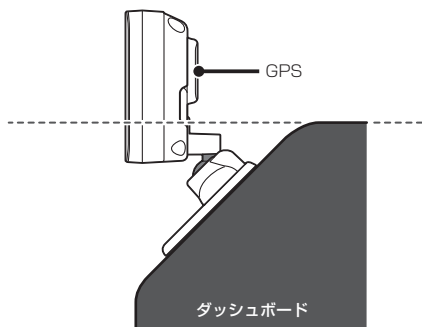
マウントベースの調整について

マウントベースは、ボールジョイント機構により、角度のついた場所でも取り付けすることができます。



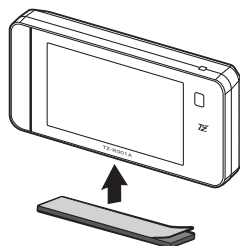
✓ アドバイス

角度のついた場所に取り付ける際は、下図のようにダッシュボードでGPSが隠れないように注意してください。GPS信号やレーダーを受信しにくくなる場合があります。

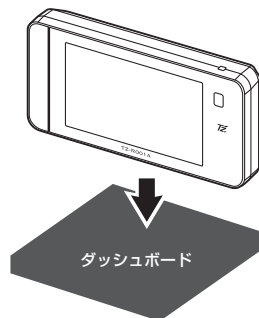


ダッシュボードへ直接取り付ける場合

- 1 本体取付用両面テープを本体の底面に貼り付ける



- 2 本体をダッシュボードに貼り付ける

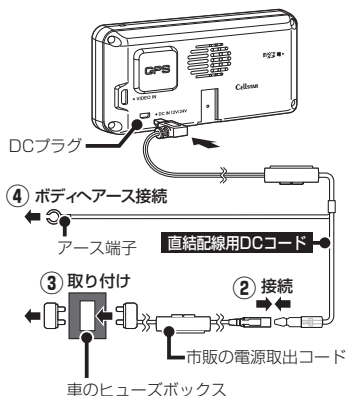


電源の取り方

ヒューズボックスから電源を取る場合

市販の電源取出コード（平型ヒューズタイプ）を使用して、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

- 1 ACC オン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ（シガーライター、ラジオなど）を探す
- 2 直結配線用DCコードと電源取出コードを接続する
- 3 ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込む
- 4 直結配線用DCコードのアース端子を車のボディに接続する



✓ アドバイス

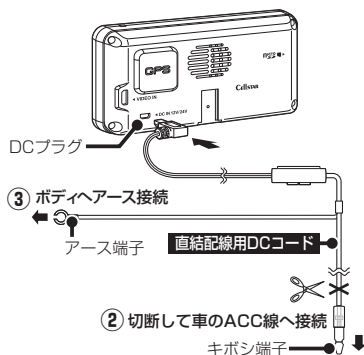
エンジンをかけて本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

- 本体の電源スイッチ
- コード類の接続
- 車、またはDCコード内のヒューズ

ACC線から直接電源を取る場合

市販のエレクトロタップなどを使用して、車のACC線から直接電源を取ることができます。

- 1 テスターなどで、車のキーをACC オンにしたときに12V、オフにしたときに0VになるACC線を探す
- 2 直結配線用DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用して車のACC線へ接続する
- 3 直結配線用DCコードのアース端子を車のボディに接続する



⚠ 注意

アース端子接続

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）

【取り付けに適さない場所】

- アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めてあるネジ（タッピングネジなど）
- チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分

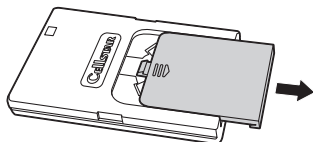
リモコンの取り付け方

リモコン用電池の装着方法

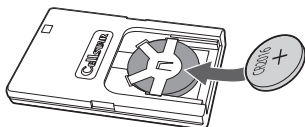
本機ではボタン電池（CR2016）を使用します。
初めて本機をご使用になる場合は、同梱の電池を入れてください。

また、リモコンが作動しにくくなった場合は、市販されている新しい同型の電池に交換してください。

1 電池カバーを後ろにずらして外す



2 電池を図のように「+」側を上にして、リモコンに入れる



3 電池カバーをはめなおす

⚠ 警告

- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしないでください。

⚠ 注意

- 電池の「+」「-」を逆に入れないでください。
- 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。
- 同梱の電池はモニター用電池です。
- 使い終わった電池の処分は、各地方自治体の指示に従ってください。

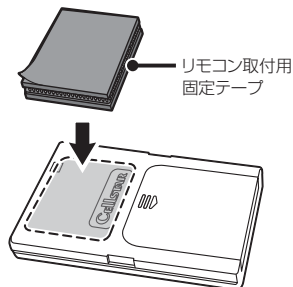
✓ アドバイス

リモコンを紛失すると、本機の操作をおこなうことができません。紛失しないよう、十分ご注意ください。

リモコンの取り付け方法

1 リモコンにリモコン取付用固定テープを貼り付ける

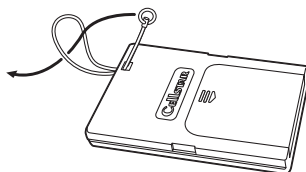
下図の位置に貼り付けてください。



2 リモコンを取付個所に貼り付ける

市販のストラップを取り付ける場合

下図のようにリモコンの穴に市販のストラップを通して取り付けることもできます。



⚠ 注意

- リモコンをダッシュボードの上など、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- リモコンのボタンを爪やペンなど先の尖ったもので押さないでください。リモコンの故障の原因となります。

microSDカードの使用方法

付属のmicroSDカードには、音声データ、フルマップデータ（株式会社ゼンリン）、スマート警告用画像データが収録されています。

✓ アドバイス

- 付属のmicroSDカードには、フルマップデータのプロテクト処理が施されています。複製した別のmicroSDカードを本製品で読み込むとプロテクト処理によりフルマップは表示されません。必ず、付属のmicroSDカードを使用してください。
- 地図データ更新プランにより、購入したmicroSDカードには、プロテクト処理が施されています。付属のmicroSDカードと差し替えて使用してください。
- 付属のmicroSDカードを紛失、破損、誤ってデータを削除した場合、有償修理となります。データのバックアップを取っておくことをお勧めします。
 - * バックアップしたデータは必ず付属のmicroSDカードに復元してください。
 - * 本機の動作中にmicroSDカードを取り出し、再度挿入するとフルマップが表示しなくなります。本機の電源を入れなおしてください。

最新のGPSデータ更新、スマート警告用画像データ、公開交通取締情報、高速道ガソリンスタンド価格案内などは、「MyCellstar」で簡単にmicroSDカードにダウンロードできます。「MyCellstar」では、他にもおもしろカスタマイズ、デジタルフォトフレーム、GPSスポットなど便利な機能が利用できます。

詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

- * 付属のmicroSDカードは、初期不良以外は有償修理となります。
- * 本機は、SDHC規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされたmicroSDカードが使用できます。
- * 本機では、1GB～32GBまでのmicroSDカードが使用できます。
- * 市販のmicroSDカードに付属のmicroSDカードに収録されている音声データをコピーすることはできませんが、マップデータをコピーして使用することはできません。
- * フルマップデータは株式会社ゼンリンによる使用規定をご確認ください。（P86参照）
- * microSD™ はSDアソシエーションの商標です。

⚠ 注意

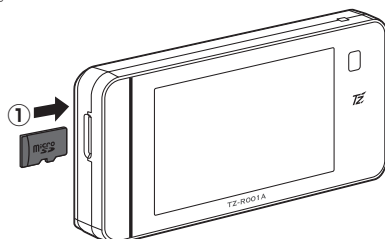
microSD カードに保存したデータの取り扱いについて

- 本機は使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合がありますが、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

microSDカードの挿入

microSDカードの向きに注意して「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- * 必ず、本機の電源がOFFになっていることを確認してください。

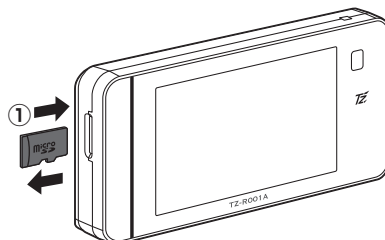


microSDカードの取り出し

挿入されているmicroSDカードを「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- * 必ず、本機の電源がOFFになっていることを確認してください。

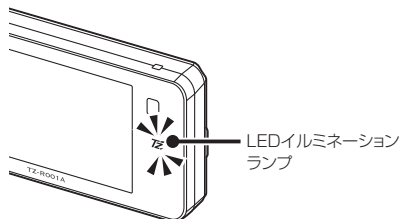
microSDカードが排出されます。



基本的な操作方法

電源を入れる

1 車のエンジンを始動する



電源が入るとオープニング画面が表示され、LEDイルミネーションランプが点灯します。

✓ アドバイス

お買い求めいただいて、初めてお使いになる場合

GPS 測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（15 分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS 測位に 20 分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。GPS 測位が確定すると「♪ GPS を測位しました。」とお知らせします。

超速GPSにより自車位置を素早く測位します。動作の条件については56ページをご覧ください。

オープニング画面について

■ シートベルト着用案内

シートベルト着用案内の設定が「オン」の場合、本機の電源が入ったときにお知らせします。（P48参照）

■ 飲酒運転禁止

飲酒運転禁止の設定が「オン」の場合、夜間に本機の電源が入ったときにお知らせします。（P46参照）

■ 春の交通安全運動週間

4月6日～4月15日の春の交通安全運動週間にお知らせします。

* 4年に一度おこなわれる統一地方選挙のある年だけ、5月11日～5月20日に変更になります。

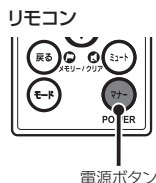
■ 秋の交通安全運動週間

9月21日～9月30日の秋の交通安全運動週間にお知らせします。

* ご購入後、初めて電源を入れた日が交通安全運動期間中の場合、交通安全運動期間中の案内は起こりません。シートベルトの着用案内をお知らせします。また、初めて電源を入れた時間が夜間の場合でも飲酒運転警告は起こりません。

電源を切る

リモコンの**電源ボタン**を押し続けます。約1秒後反則金データベースが表示されますが、そのまま押し続けてください。



はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

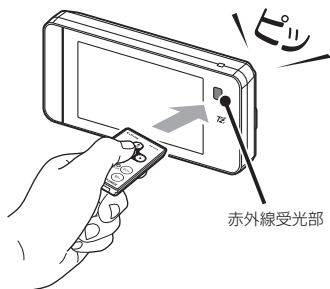
もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

リモコンの操作

リモコンの操作をするときは、リモコンを図のように持ち、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押してください。



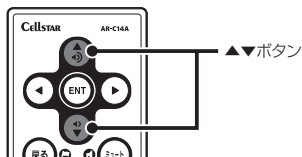
✓ アドバイス

- ・リモコンを紛失すると、本機の操作をおこなうことができません。紛失しないよう、十分ご注意ください。
- ・本体の赤外線受光部およびリモコンの赤外線送信部に直射日光が当たっている場合、リモコンが操作できなくなる場合があります。これは本機の製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

音量の調整

本機のスピーカーから出力される音量を調整します。

▲▼ボタンを押して音量を調整します。数秒後、待受画面に戻ります。



▼ 音量小

▲ 音量大

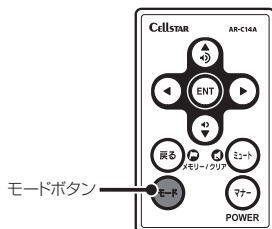


設定モードの切り替え (モードセレクト)

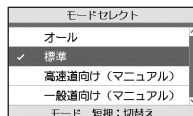
本機の設定には下記のように4つのモードがあり、あらかじめ設定メニュー（P40～P51参照）を各モードに最適な内容にしてあります。4つのモードはワンタッチ操作で簡単に切り替えられます。

モード	モード内容
オール	すべての警告 / 案内がオンになります。
標準 (工場出荷時の設定)	ベストセレクトされた機能がオンになっています。
高速道向け (マニュアル)	初期設定が高速道向けに設定されています。お好みに合わせて各種機能の設定を変更できます。
一般道向け (マニュアル)	初期設定が一般道向けに設定されています。お好みに合わせて各種機能の設定を変更できます。

1 モードボタンを押す



現在の設定モードをお知らせします。



* 初期の設定は、「標準」が選ばれています。

2 再度モードボタンを押して設定モードを切り替える

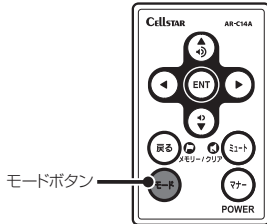
押すたびに設定モードが切り替わります。数秒後、待受画面に戻ります。

✓ アドバイス

- ・「高速道向け（マニュアル）」または「一般道向け（マニュアル）」から「標準」、「オール」に切り替えても、マニュアルモードで個別に変更した設定内容は記憶されています。
- ・設定モードの切り替えは、メインメニュー画面からでもおこなえます。（P38参照）

設定チェック機能

1 モードボタンを約1秒間押し続ける



各機能の設定内容を画面でお知らせします。

2 チェック機能を終了する場合は、再度モードボタンを押す

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

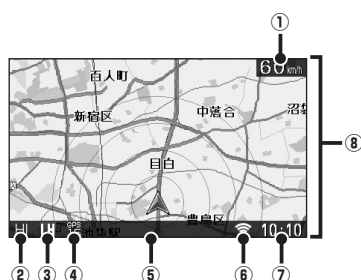
困ったときは

アフター
サービス

待受画面の見方

本機が起動すると、次の待受画面を表示します。各種警告や案内をおこなうたびに画面が切り替わります。リモコンの**◀▶ボタン**を押して待受画面を簡単に変更できます。

- * 表示されるデータは目安としてご使用ください。実際の表示とズレる場合があります。
- * 工場出荷時は、フルマップが表示されます。



① 走行速度

走行速度を表示します。走行速度は、GPSとGセンサーによって測定し表示します。取締機手前約2km～約200m間で、制限速度超の場合は赤色に表示します。

- * GPSが未測位、またはGセンサーとジャイロセンサーのみで計測しているときは「--- km/h」と表示されます。オプションのOBD IIアダプターを使用して接続している場合は、速度を表示します。
- * 表示速度補正（P50参照）をおこなうと実際の走行速度にならない場合があります。
- * GPS未測位時は、GPSを利用する各種情報は表示されません。

② 走行している道路の種類

現在走行している路線の種類を表示しています。ALL:全て / HI:ハイウェイ / CI:シティ
* 工場出荷時はロード自動選択がオンです。

③ 警告予告 次の警告対象（3km以内）となる取締機などのアイコンを表示します。

④ GPS GPS測位時、現在測位している衛星数を表示します。

⑤ 現在地情報/公開交通取締情報/おしらせ情報

現在地の住所や公開取締情報、セルスターが配信するお知らせ情報を表示します。

- * 公開交通取締情報表示機能の設定（P48参照）を「オン」にすると表示します。（デジタルフォトフレーム/コンテンツダウンロード/オフ/警告時以外）
- * おしらせ情報の表示には無線LANでのインターネット接続が必要です。（P79参照）

⑥ 無線LAN 無線LANの接続状況を5段階で表示します。データのダウンロードや通信中はアイコンが切り替わります。

⑦ 時間 GPSから得た現在の時刻を表示します。

⑧ テロップ 「テロップ表示」設定で表示の有無を選択できます。（P44参照）

待受画面

* OBD II アダプターを接続するとカスタマイズできる項目が増えます。

クラシックメーター

速度、電圧、回転数など最大6種類のメーターから選択できます。



- ① 速度
- ② 最高速度
- ③ 時計
- ④ 方位

デジタル時計

ホワイト、レッド、オレンジ、イエロー、グリーン、ブルーグリーン、ブルー、パープルの8色のデジタル時計から選択できます。



- ① デジタル時計
- ② 速度
- ③ 方位

アナログ時計

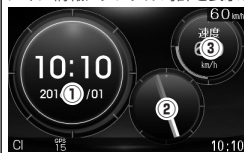
モダン、クラシック、POPの3種類のアナログ時計から選択できます。



- ① アナログ時計
- ② 速度
- ③ 走行距離
- ④ 方位
- ⑤ 気圧

ベーシック1

メイン情報にデジタル時計を表示します。



- ① デジタル時計
- ② 方位
- ③ 速度

待受画面

* OBD II アダプターを接続するとカスタマイズできる項目が増えます。

ベーシック2

メイン情報にアナログ時計を表示します。



ベーシック3

メイン情報にフルマップを表示します。



待受画面（カスタム）

* OBD II アダプターを接続するとカスタマイズできる項目が増えます。

* 初期設定では、OBD II アダプター未接続または取得できない項目は「—」で表示されます。

カスタム1（燃費系）

車両の燃費系メーターなどの情報表示に適しています。



カスタム5（OBD II系）

車両情報をメーターと表（ロガー）で表示します。



カスタム2（スポーツ系）

車両のスポーツ系メーターなどの情報表示に適しています。



カスタム6（データロガー）

車両情報を表（ロガー）2個で表示します。



カスタム3（表示系6個）

車両情報を6個表示します。



カスタム7（テキスト）

車両情報をテキストで表示します。



カスタム4（表示系2個）

車両情報を2個表示します。



はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

待受画面の見方（つづき）

待受画面（カスタム）

- * OBD II アダプターを接続するとカスタマイズできる項目が増えます。
- * 初期設定では、OBD II アダプター未接続または取得できない項目は「—」で表示されます。

トヨタHV1

OBD II でトヨタ HV 設定時のみ選択できます。
P28 のカスタム項目リストから選択した 1 項目を表示します。

- * 選択した項目により待受画面のデザインが変わります。



初期値

- ① パワーユニット出力(馬力)

トヨタHV2

OBD II でトヨタ HV 設定時のみ選択できます。
P28 のカスタム項目リストから選択した 3 項目をテキストで表示します。



初期値

- ① エンジン出力
- ② フロントモーター出力
- ③ HV バッテリー充電率

待受画面

フルマップ

株式会社ゼンリンの地図データを表示します。

無線 LAN でのインターネット接続をし、「ASSURA+Link アイコン信頼度」を高・中・低に設定すると ASSURA+Link に投稿されたリアルタイムのポイント情報をアイコンでお知らせします。



- * 本機の電源を入れGPSを測位するまでの間、現在地が正しく表示されない場合があります。

- * 工場出荷時は、2D朝昼夜オート切替です。

カメラ

オプションのフロントカメラ（RO-113/RO-114）や当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーを接続し、外部入力設定を「オン（待受 / 警告 / ドライブレコーダー連携）」にするとカメラ映像を表示します。映像信号がない場合は、ブルーバックが表示されます。（P69 参照）



「画像認識」に設定した場合

カメラ映像から画像認識し、全面でスカウター表示します。

コンテンツダウンロード

スマートフォンアプリ「MyCellstar+Sync for iOS/Android」から追加の待受画面や警告画面を収録したコンテンツデータをダウンロードして表示します。

コンテンツデータの転送は、無線 LAN または microSD カードを使用しておこないます。（P75 参照）



- * この待受画面は一例です。
- * コンテンツダウンロードの利用方法は、スマートフォンアプリ「MyCellstar+Sync for iOS/Android」のヘルプを参照ください。

カメラ&フルマップ

カメラ映像と地図の 2 画面を表示します。



デジタルフォトフレーム

「MyCellstar」で設定したお好みの写真を表示します。（P83 参照）
「デジタルフォトフレーム設定」でスライドショーの表示間隔を設定することができます。（P44 参照）

オフ

待受画面を非表示にします。

待受画面のカスタマイズ機能

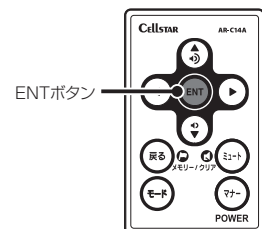
待受テーマカラーの変更

全ての待受項目のグラフ、数値描画色を全6色(ブルー、イエロー、レッド、オレンジ、グリーン、パープル)より選んで表示させることができます。

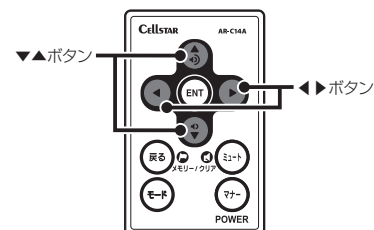
* クラシックメーターは6種類のメーター、アナログ時計は3種類のデザイン、デジタル時計は全8色から設定できます。

待受テーマカラーの変更方法

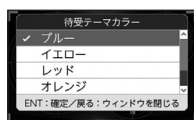
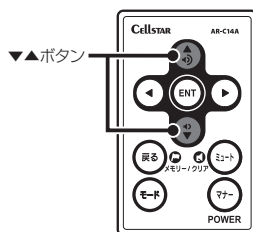
- 1 待受テーマカラーを変更したい待受画面を表示中に**ENT**ボタンを約1秒押す



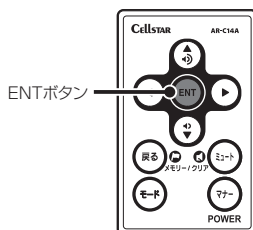
- 2 ◀▶ボタンまたは▼▲ボタンを押してカーソルを全画面選択にして**ENT**ボタンを押す



- 3 ▼▲ボタンを押して待受テーマカラーを切り替える

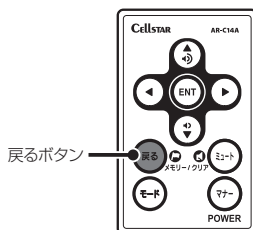


- 4 **ENT**ボタンを押して待受テーマカラーを確定する



- 5 引き続き他の待受テーマカラーを変更する場合は、**戻る**ボタンを押して待受画面に戻り、◀▶ボタンを押して変更したい待受画面を選ぶ

設定を終了して待受画面に戻る場合は、**戻る**ボタンを押します。また何もボタンを押さなければ、待受画面に戻ります。



はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

表示項目の変更

待受画面に初期設定されている表示項目を変更することができます。

* 全画面表示（フルマップ、コンテンツダウンロード、カメラ、デジタルフォトフレーム、オフ）の待受画面は除きます。

表示項目の変更方法

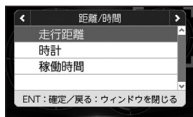
- 1 表示項目を変更したい待受画面を表示中に
ENTボタンを約1秒押す



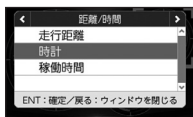
- 2 ◀▶ボタンまたは▼▲ボタンを押して、
変更したい表示項目をカーソルで選択して
ENTボタンを押す



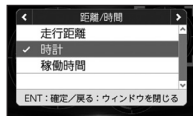
- 3 ◀▶ボタンを押して変更するカテゴリを
選ぶ



- 4 ▼▲ボタンを押して表示項目を切り替
える



- 5 **ENTボタン**を押して表示項目を確定する



- 6 引き続き他の表示項目を変更する場合は、
戻るボタンを押して待受画面に戻り、
◀▶ボタンまたは**▼▲ボタン**を押して変
更したい表示項目を選ぶ

設定を終了して待受画面に戻る場合は、**戻るボ
タン**を押します。また何もボタンを押さなけれ
ば、待受画面に戻ります。

待受画面のカスタマイズ情報表示リスト/データリセット条件一覧 * OBDⅡ重複

■ 基本情報

待受画面のカスタマイズにより、表示項目のカテゴリ、項目要素を下記より選ぶことができます。

* 車両からOBDⅡの情報が取得できない項目は非表示となります。

* HVシステム、HVその他の項目は、トヨタHV対応OBDⅡアダプターを使用して適合可のトヨタハイブリッド車に接続した場合のみ設定可能となります。

カテゴリ	項目要素	グラフバー表示範囲	単位	データリセット条件
速度	速度 *OBDⅡと重複	0 ~ 180	km/h	—
	最高速度BA	0 ~ 180	km/h	電源OFF
	平均速度BA	0 ~ 180	km/h	電源OFF
距離/時間	走行距離 *OBDⅡと重複	0 ~ 500	km	電源OFF
	時計	(0 ~ 59 秒)	—	—
	稼働時間	0 ~ 5 : 00	(時間 / 分)	電源OFF
計測/表示	電圧	8.0 ~ 28.0	V	—
	気圧	700 ~ 1,100	hPa	—
	方位	南 - 北 - 南 (16 方位)	—	—
	緯度	20° 25' 31" ~ 45° 33' 26"	(度 / 分 / 秒)	—
	経度	122° 56' 01" ~ 153° 59' 11"	(度 / 分 / 秒)	—
	GPS警告案内回数	100	回	電源OFF
	無線受信数	100	回	電源OFF
	レーダー受信数	100	回	電源OFF
Gセンサー	ヨーレート	-180 ~ 0 ~ 180	deg/s	—
	最大ヨーレート	-180 ~ 0 ~ 180	deg/s	電源OFF
	前後傾斜角	-40 ~ 0 ~ 40	度	—
	左右傾斜角	-40 ~ 0 ~ 40	度	—
	前 最高Gフォース	0 ~ 1.0	G	電源OFF
	後 最高Gフォース	0 ~ 1.0	G	電源OFF
	右 最高Gフォース	0 ~ 1.0	G	電源OFF
	左 最高Gフォース	0 ~ 1.0	G	電源OFF
エコ	エコ急加速PT	0 ~ 100	POINT	電源OFF
	エコ急減速PT	0 ~ 100	POINT	電源OFF
	エコ速度PT	0 ~ 100	POINT	電源OFF
	エコIDOL時間PT	0 ~ 100	POINT	電源OFF
	エコ総合評価PT	0 ~ 100	POINT	電源OFF
リマインダー	オイル交換(ヶ月後/Km)	指定値まで	ヶ月 / km	初期化 / 設定
	オイルエレメント交換(ヶ月後/Km)	指定値まで	ヶ月 / km	初期化 / 設定
	タイヤローテーション(ヶ月後/Km)	指定値まで	ヶ月 / km	初期化 / 設定
	バッテリー交換	指定値まで	日	初期化 / 設定
	車検	指定値まで	日	初期化 / 設定
	点検	指定値まで	日	初期化 / 設定
	免許更新	指定値まで	日	初期化 / 設定
	記念日	指定値まで	日	初期化 / 設定
	誕生日	指定値まで	日	初期化 / 設定

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

待受画面のカスタマイズ情報表示リスト/データリセット条件一覧（つづき） * 基本情報重複

■ OBD II

待受画面のカスタマイズにより、表示項目のカテゴリ、項目要素を下記より選ぶことができます。

- * 車両からOBD IIの情報が取得できない項目は非表示となります。
- * HVシステム、HVその他の項目は、トヨタHV対応OBD IIアダプターを使用して適合可のトヨタハイブリッド車に接続した場合のみ設定可能となります。

カテゴリ	項目要素	グラフバー表示範囲	単位	データリセット条件
速度	速度 *基本情報と重複	0 ~ 180	km/h	—
	平均速度OBD	0 ~ 180	km/h	リセット
	最高速度OBD	0 ~ 180	km/h	リセット
	積算平均速度	0 ~ 180	km/h	初期化
	5秒速度	0 ~ 180	km/h	0 km/h
	平均5秒速度	0 ~ 180	km/h	リセット
	最高5秒速度	0 ~ 180	km/h	リセット
距離/時間	走行距離 *基本情報と重複	0 ~ 500	km	電源OFF
	積算走行距離	0 ~ 50,000	km	初期化
	運転時間	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	—
	停車時間	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	電源OFF
	積算運転時間	0 ~ 2,000	時間	初期化
	走行時間	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	電源OFF
	積算走行時間	0 ~ 2,000	時間	初期化
計測/表示	外気温	-20 ~ 60	℃	—
	最高外気温	-20 ~ 60	℃	リセット
	最低外気温	-20 ~ 60	℃	リセット
エコ	アイドリング時間	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	電源OFF
	アイドリング比率	0 ~ 100	%	電源OFF
	アイドリングストップ時間	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	電源OFF
	アイドリングストップ回数	100	回	電源OFF
	アイドリングストップ比率	0 ~ 100	%	電源OFF
	積算アイドリングストップ時間	0 ~ 200	時間	初期化
	積算アイドリングストップ回数	36,500	回	初期化
	積算アイドリングストップ比率	0 ~ 100	%	初期化

待受画面のカスタマイズ情報表示リスト/データリセット条件一覧（つづき） * 基本情報重視

■ OBD II

待受画面のカスタマイズにより、表示項目のカテゴリ、項目要素を下記より選ぶことができます。

* 車両からOBD IIの情報が取得できない項目は非表示となります。

* HVシステム、HVその他の項目は、トヨタHV対応OBD IIアダプターを使用して適合可のトヨタハイブリッド車に接続した場合のみ設定可能となります。

カテゴリ	項目要素	グラフバー表示範囲	単位	データリセット条件
エンジン	エンジン回転数	0 ～ 9,000	rpm	—
	平均回転数	0 ～ 9,000	rpm	リセット
	最高回転数	0 ～ 9,000	rpm	リセット
	エンジン負荷	0 ～ 100	%	—
	平均エンジン負荷	0 ～ 100	%	リセット
	最大エンジン負荷	0 ～ 100	%	リセット
	エンジン水温	20 ～ 120	℃	—
	最高エンジン水温	20 ～ 120	℃	リセット
	スロットル開度	0 ～ 100	%	—
	平均スロットル開度	0 ～ 100	%	リセット
	最高スロットル開度	0 ～ 100	%	リセット
	吸気温	-20 ～ 60	℃	—
	最高吸気温度	-20 ～ 60	℃	リセット
	燃料圧力	0 ～ 765	kPa	—
	点火時期	-16 ～ 63.5	度	—
	インマニ圧	-1.0 ～ 0.5	× 100kPa	—
	最大インマニ圧	-1.0 ～ 0.5	× 100kPa	リセット
	ブースト圧	-1.0 ～ 2.0	× 100kPa	—
	最大ブースト圧	-1.0 ～ 2.0	× 100kPa	リセット
加速時間	INJ(燃料噴射時間)	0 ～ 65,534	—	—
	0～400m加速	0.0 ～ 60.0	秒	0 km/h
	0～400m加速(最短)	0.0 ～ 60.0	秒	リセット
	0～1000m加速	0.0 ～ 60.0	秒	0 km/h
	0～1000m加速(最短)	0.0 ～ 60.0	秒	リセット

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

待受画面のカスタマイズ情報表示リスト/データリセット条件一覧（つづき） * 基本情報重複

■ OBD II

待受画面のカスタマイズにより、表示項目のカテゴリ、項目要素を下記より選ぶことができます。

- * 車両からOBD II の情報が取得できない項目は非表示となります。
- * HVシステム、HVその他の項目は、トヨタHV対応OBD II アダプターを使用して適合可のトヨタハイブリッド車に接続した場合のみ設定可能となります。

カテゴリ	項目要素	グラフバー表示範囲	単位	データリセット条件
燃費	MAF(吸入空気量)	0 ~ 655.34	g/s	—
	瞬間燃費	0.0 ~ 99.0	km/L	—
	平均燃費	0.0 ~ 40.0	km/L	リセット
	積算燃費	0.0 ~ 40.0	km/L	初期化
	運転燃費	0.0 ~ 40.0	km/L	電源OFF
	走行燃費	0.0 ~ 40.0	km/L	0 km/h
	シティーモード平均燃費	0.0 ~ 40.0	km/L	リセット
	ハイウェイモード平均燃費	0.0 ~ 40.0	km/L	リセット
	燃料流量	0 ~ 800	ml/m	—
	平均燃料流量	0 ~ 800	ml/m	リセット
	最大燃料流量	0 ~ 800	ml/m	リセット
	消費燃料	0.0 ~ 50.0	L	電源OFF
	積算消費燃料	0.0 ~ 18,250.0	L	初期化
	燃料代	0 ~ 8,500	円	電源OFF
	積算燃料代	0 ~ 3,102,500	円	初期化
グラフ 平均回転数	Av回転数(0~20Km/h)	0 ~ 9,000	rpm	電源OFF
	Av回転数(20~40Km/h)	0 ~ 9,000	rpm	電源OFF
	Av回転数(40~60Km/h)	0 ~ 9,000	rpm	電源OFF
	Av回転数(60~80Km/h)	0 ~ 9,000	rpm	電源OFF
	Av回転数(80~100Km/h)	0 ~ 9,000	rpm	電源OFF
	Av回転数(100Km/h~)	0 ~ 9,000	rpm	電源OFF
グラフ 加速時間	加速時間(0~20Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	0 km/h
	加速時間(0~40Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	0 km/h
	加速時間(0~60Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	0 km/h
	加速時間(0~80Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	0 km/h
	加速時間(0~100Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	0 km/h
	加速時間(100Km/h~)	0.0 ~ 60.0	秒	0 km/h
グラフ 平均加速時間	Av加速時間(0~20Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF
	Av加速時間(0~40Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF
	Av加速時間(0~60Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF
	Av加速時間(0~80Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF
	Av加速時間(0~100Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF
	Av加速時間(100Km/h~)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF

待受画面のカスタマイズ情報表示リスト/データリセット条件一覧（つづき） * 基本情報重複

■ OBD II

待受画面のカスタマイズにより、表示項目のカテゴリ、項目要素を下記より選ぶことができます。

* 車両からOBD IIの情報が取得できない項目は非表示となります。

* HVシステム、HVその他の項目は、トヨタHV対応OBD IIアダプターを使用して適合可のトヨタハイブリッド車に接続した場合のみ設定可能となります。

カテゴリ	項目要素	グラフバー表示範囲	単位	データリセット条件
グラフ 最短加速時間	最短加速時間 (0~20Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF
	最短加速時間 (0~40Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF
	最短加速時間 (0~60Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF
	最短加速時間 (0~80Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF
	最短加速時間 (0~100Km/h)	0.0 ~ 60.0	秒	電源OFF
グラフ 平均燃費	Av燃費 (0~20Km/h)	0.0 ~ 40.0	km/L	電源OFF
	Av燃費 (20~40Km/h)	0.0 ~ 40.0	km/L	電源OFF
	Av燃費 (40~60Km/h)	0.0 ~ 40.0	km/L	電源OFF
	Av燃費 (60~80Km/h)	0.0 ~ 40.0	km/L	電源OFF
	Av燃費 (80~100Km/h)	0.0 ~ 40.0	km/L	電源OFF
	Av燃費 (100Km/h~)	0.0 ~ 40.0	km/L	電源OFF
グラフ 平均スロットル開度	Avスロットル (0~20Km/h)	0 ~ 100	%	電源OFF
	Avスロットル (20~40Km/h)	0 ~ 100	%	電源OFF
	Avスロットル (40~60Km/h)	0 ~ 100	%	電源OFF
	Avスロットル (60~80Km/h)	0 ~ 100	%	電源OFF
	Avスロットル (80~100Km/h)	0 ~ 100	%	電源OFF
	Avスロットル (100Km/h~)	0 ~ 100	%	電源OFF
グラフ 走行時間	走行時間 (0~20Km/h)	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	電源OFF
	走行時間 (0~40Km/h)	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	電源OFF
	走行時間 (0~60Km/h)	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	電源OFF
	走行時間 (0~80Km/h)	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	電源OFF
	走行時間 (0~100Km/h)	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	電源OFF
	走行時間 (100Km/h~)	0 ~ 5:00:00	時 / 分 / 秒	電源OFF
グラフ 走行比率	走行比率 (0~20Km/h)	0 ~ 100	%	電源OFF
	走行比率 (0~40Km/h)	0 ~ 100	%	電源OFF
	走行比率 (0~60Km/h)	0 ~ 100	%	電源OFF
	走行比率 (0~80Km/h)	0 ~ 100	%	電源OFF
	走行比率 (0~100Km/h)	0 ~ 100	%	電源OFF
	走行比率 (100Km/h~)	0 ~ 100	%	電源OFF

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

待受画面のカスタマイズ情報表示リスト/データリセット条件一覧（つづき）

■ トヨタHV

待受画面のカスタマイズにより、表示項目のカテゴリ、項目要素を下記より選ぶことができます。

また、トヨタHV 専用待受画面「トヨタHV」を設定できます。

* 車両からOBD II の情報が取得できない項目は非表示となります。

* HVシステム、HVその他の項目は、トヨタHV対応OBD II アダプターを使用して適合可のトヨタハイブリッド車に接続した場合のみ設定可能となります。

カテゴリ	項目要素	グラフバー表示範囲	単位	データリセット条件
HVシステム	HVバッテリー充電率 (THV)	0 ~ 100	%	—
	フロントモーター出力 (THV)	0 ~ 400	kW	—
	エンジン出力 (THV)	0 ~ 300	PS	—
	パワーユニット出力 (THV)	0 ~ 550	kW	—
	パワーユニット出力 (馬力) (THV)	0 ~ 700	PS	—
	リアモーター出力 (THV)	0 ~ 150	kW	—
	リアモータートルク配分比 (THV)	0 ~ 100	%	—
	HVバッテリー電流 (THV)	0 ~ 300	A	—
	HVバッテリー電圧 (THV)	0 ~ 300	V	—
	補機バッテリー電圧 (THV)	8.0 ~ 16.0	V	—
	昇圧後電圧 (THV)	0 ~ 700	V	—
	アクセル開度 (THV)	0 ~ 100	%	—
	エアコン消費電力 (THV)	0 ~ 0.5	kW	—
	ジェネレーター発電量 (THV)	0 ~ 100	kW	—
	滑空 (THV)	-100 ~ 100	—	—
HVその他	外気温度 (THV)	-20 ~ 60	℃	—
	エンジン油温 (THV)	40 ~ 150	℃	—
	燃料残量 (THV)	0.0 ~ 84.0	L	—
	ホイール速度FR (THV)	0 ~ 180	km/h	—
	ホイール速度FL (THV)	0 ~ 180	km/h	—
	ホイール速度RR (THV)	0 ~ 180	km/h	—
	ホイール速度RL (THV)	0 ~ 180	km/h	—
	ハンドル切れ角 (THV)	-720 ~ 720	度	—
	ヨーレート (THV)	-180 ~ 180	deg/s	—

⚠ 注意

- OBD II 情報が取得できない場合、それをベースに算出している項目は表示されません。
- OBD II 情報から取得し燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。燃費は適合表を確認してください。
- インマニ計、ブースト計は1気圧に対する相対値です。過給機を搭載していない車両でも画面、テキスト表示が出る場合があります。

警告案内画面の見方

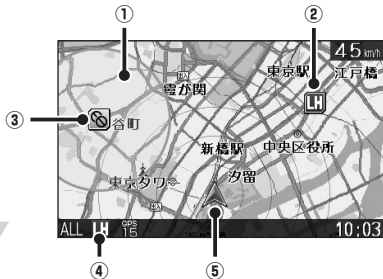
取締機の警告の動き

- モードセレクト「オール」、マップモード「2D屋間」、待受画面「フルマップ」、マップアイコン表示設定「オール」、マップアイコンズーム「オン」、警告パターン「スマート警告」の場合

- * 待受画面の設定 (P44参照)
- * マップモードの設定 (P44参照)
- * マップアイコン表示設定 (P44参照)
- * 警告パターンの設定 (P46参照)

フルマップ

(取締機手前約3km以内)



GPS警告

(取締機手前約2km～約200m)



(取締機手前約200m～約0m)



✓ アドバイス

GPSとトリプルセンサーの測定状況によっては、自車位置が正しく表示しない場合があります。

① フルマップ表示

取締機などに近づくとき地図が拡大表示します。

- * microSDカードスロットに付属のmicroSDカードを挿入しないと地図は表示されません。

② 取締機などの位置

警告しているアイコンは、白枠を点滅してお知らせします。

表のアイコンは一例です。(P31～P35 参照)

- * マップアイコンズームの設定 (P44参照) を「オン」に設定すると、警告しているアイコンを拡大してお知らせします。
- * ASSURA+Linkのアイコンは80ページを参照ください。

	Hシステム	
	ループコイル	赤色
	LHシステム	
	事故多発路線	黄色
	取締りポイント	
	ユーザーポイント	青色

③ 駐車禁止・最重点エリア

駐車禁止エリアを丸の範囲で表示してお知らせします。

④ 警告予告のアイコン

次の警告対象 (3km 以内) となる取締機などのアイコンを表示します。

⑤ 自車位置

自車位置を表示します。

⑥ 道路種

警告している対象の道路種をお知らせします。

⑦ 取締機などの名称

警告している取締機や受信している無線、レーダーなどの名前を表示します。

⑧ 取締機までの距離 / レーダーの受信レベル

自車位置から取締機などが設置されている地点までの距離やレーダーの受信レベルを5段階で表示します。

⑨ 取締機のイラスト

イラストは取締機の種類と設置されたカメラ位置（道路の左 / 中央 / 右）によって変化します。

- * 全画面で表示した後、左側に縮小表示します。

- * microSDカードスロットにスマート警告用画像が記録されたmicroSDカードを挿入して、警告パターンの設定 (P46 参照) を「スマート警告」に設定すると、警告画面がスマート警告に変わります。

- * オプションのフロントカメラや当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーなどを接続して、警告パターンの設定 (P46参照) を「カメラ」に設定すると、警告画面をライブビューで表示します。

⑩ 枠の色で警告の危険度をお知らせします。

赤色：危険度大 黄色：危険度中 青色：危険度小

⑪ 制限速度

取締機などの制限速度を表示します。

⑫ 通過速度案内

通過速度と通過時の状況をお知らせします。

白色	通過速度が制限速度内のとき
赤色	通過速度が制限速度超のとき

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

各種GPS警告案内例

速度取締機などの警告動作

速度取締機、信号無視監視機を高速道路走行中は2km先、一般道走行中は1km先から警告案内します。

- * 距離のお知らせは、走行状況によって2km先/2km以内、1km先/1km以内、500m先/500m以内と変化します。
- * 「速度取締機カウントダウン」を設定している場合、取締機までの距離を1km付近から100m刻みで音声案内します。(P46参照)
- * 通過速度の警告は約200m手前で、警告を開始した時点に計測した走行速度をお知らせします。
- * GPSで計測した走行速度と車両のスピードメーターでは計測方法が異なるため、同時点の計測であっても異なる場合があります。
- * 本機で表示するフルマップは、実際の走行中の道路と異なる場合があります。
- * GPS未測位時、Gセンサーとジャイロセンサーで動作している場合は、走行速度は表示されません。
- * オプションのOBD IIアダプターを使用して接続している場合は、速度を表示します。
- * 「表示速度補正」の設定をおこなうと、実際の走行速度にならない場合があります。(P50参照)

■ 首都高速、LHシステム（トンネル内LHシステム）の場合

「待受画面」は、設定によって異なります。



✓ アドバイス

- ・「高速道路速度取締機予告」を設定している場合、都市間高速道路走行中は取締機の約5km手前で黄色の取締機アイコンを表示し、音声案内します。(P40参照)
- ・「取締機前下り坂警告」を設定すると取締機とユーザーメモリの警告時、気圧センサーによって取締機とユーザーメモリ手前の道が下り坂と判定された場合、音声案内します。(P62参照)
- ・「速度取締機回避アナウンス」を設定すると速度取締機とユーザーメモリを判定エリア内で回避した場合に音声案内します。(P61参照)

2km ～ 取締機「LHシステム（トンネル内LHシステム）」

警告が開始されます。

モードセレクト「オール」/ 警告パターン「スマート警告」の場合



高速道

♪ 2km 先 首都高速 LHシステムに注意してください。

トンネル

♪ 2km 先 首都高速トンネル内 LHシステムに注意してください。

1km ～ 取締機「LHシステム（トンネル内LHシステム）」

制限速度を案内します。

高速道

♪ 1km 先 首都高速 LHシステムに注意。制限速度は 50km/h 以下です。
【制限速度を超過している場合】♪ 制限速度 50km/h 以下です。危険です。スピード落として。

トンネル

♪ この先 首都高速トンネル内 LHシステムに注意。制限速度 50km/h 以下です。

500m ～ 取締機「LHシステム（トンネル内LHシステム）」

再度、取締機を案内します。

高速道

♪ 500m 先 首都高速 LHシステムに注意してください。

トンネル

♪ まもなく首都高速トンネル内 LHシステムに注意してください。
* トンネル内では「速度取締機カウントダウン」ならびにカメラ位置警告は起こりません。



200m ～ 取締機「LHシステム」

カメラ位置を案内します。



高速道

♪ カメラは右側です。通過速度は 50km/h 以下です。

警告案内終了後、待受画面に戻ります。

警告の種類と内容

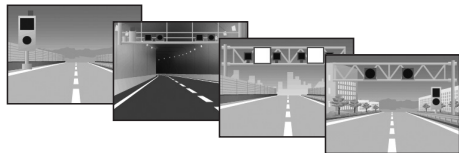
本機では各種警告をお知らせする際に、スマート警告、リアルCGの警告パターンから選んで表示することができます。

この章では警告パターンの設定を「リアルCG」にした際の画像を使って紹介しています。(P46参照)

* 速度取締機のアイコンは「高速道速度取締機予告」時、黄色で表示します。(P40参照)

スマート警告例

microSDカードスロットにスマート警告用画像が記録されたmicroSDカードを挿入して、警告パターンの設定を「スマート警告」に設定すると、警告画面がスマート警告に変わります。



* 速度取締機で表示されるスマート警告用画像は、設置状況の変更により実際のものと異なる場合があります。

GPS警告

警告内容

警告画面 (リアル CG)



オービス

レーダー (マイクロ波) を車に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

* 画面はカメラの向きにより異なります。



ループコイル

複数のループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

* 画面はカメラの向きにより異なります。



Hシステム

レーダーと異なる電波を使用します。事前に「速度超過」などを速度警告板に表示し、無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。



LHシステム

複数のループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影します。



NHシステム

走行車両をデジタルカメラで撮影し、その画像のブレから走行速度を算出して違反車両を特定します。



信号無視監視機

信号無視の違反車両を監視します。



はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

警告の種類と内容（つづき）

警告内容

警告画面（リアル CG）

トンネル出口速度取締機

トンネル出口付近の速度取締機をトンネル内から追跡、警告します。

* アイコンと画面は取締機の種類により異なります。



L トンネル内速度取締機

トンネル内の速度取締機を追跡、警告します。

* アイコンは取締機の種類により異なります。



N Nシステム

盗難車両の発見、自動車を使用した重要事件の犯人検挙のために自動でナンバーを読み取ります。



過積載監視システム

路面に設置された重量測定用の踏み台と道路上方のカメラで、大型車の重量オーバーを監視します。



警察署

緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートするため、全国各地の警察署を登録しています。



X 交番・派出所・駐在所

全国各地の交番、派出所、駐在所を登録しています。

* 音声はすべて「交番」での案内となります。



警告内容

警告画面（リアル CG）



交通警察隊

交通警察隊を登録しています。



交通検問所

一般道では道路脇に、高速道では料金所脇の高速隊詰所やサービスエリアに設置されています。



待伏せエリア



シートベルト



一時停止



飲酒



携帯電話



信号無視



一方通行



右左折禁止



通行区分違反



その他



取締りがおこなわれている可能性の高いエリア（9 種）です。



移動オービス設置ポイント

主にゾーン 30 エリアに設置されている、または過去に設置された移動オービスを登録しています。

* 撤去や移動した跡も含みます。



取締りポイント

主に速度取締りがおこなわれている可能性の高いポイントです。ポイントの 1km 手前と 500m 手前（一定の速度より速い場合のみ）で警告します。

* 警告ポイントの道路種（高速道/一般道）をお知らせします。



駐車禁止重点エリア



駐車禁止最重点エリア

公表されている取締活動ガイドラインと当社調査による駐車禁止エリアなので、標識などによる駐車禁止場所では、お知らせしない場合があります。



警告内容

警告画面（リアル CG）



事故多发エリア



事故多发路線

事故発生率の高いエリア、路線です。



盗難多发エリア

盗難多发ポイントを発生が多い時間帯で低速走行時にお知らせします。



制限速度切替りポイント

制限速度が切り替わる付近でお知らせします。



平均速度超過警告（音声のみ）

当社が高速道や有料道路に設定した計測ポイント間での平均速度を計測し、走行している道路の制限速度から超過している場合、音声で警告します。

- * 制限速度切替りポイントでは、そこまでの平均速度をお知らせし、再度そこからの平均速度を計測します。
- * 高速道を降り、一般道を走行中、40km/hを下回らない場合、一般道でも案内することがあります。
- * 平均速度超過警告機能は、当社が設定した計測ポイントを40km/h以上で通過した場合に平均速度の計測を開始します。
- * 40km/hを下回った場合、平均速度超過警告機能を終了し、そこまでの平均速度をお知らせします。



高速道凍結注意アナウンス

高速道のトンネルや橋付近で、凍結に注意が必要なポイントをお知らせします。

- * 12月中旬～2月のみ。



急カーブ

目前の急カーブや、山間部のカーブが連続している場合にお知らせします。

- * 画面はカーブの向き・種類により異なります。



警告内容

警告画面（リアル CG）



消防署

全国各地の消防署を登録しています。



トンネル入口案内

全長 1km 以上のトンネル入口と、ヘッドライト点灯を案内します。



- * 有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では入口を案内しません。
- * 夜間はヘッドライト点灯を案内しません。

トンネル出口案内

全長 1km 以上のトンネル出口と、ヘッドライト消灯を案内します。



- * 有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では出口を案内しません。
- * 夜間はヘッドライト消灯を案内しません。

トンネル内急加減速警告（音声のみ）

全長 1km 以上のトンネル走行中、急加速、急減速を感知した場合、音声で警告します。

- * トンネル案内が「オフ」の場合は、警告しません。（P40 参照）
- * 有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では警告しません。



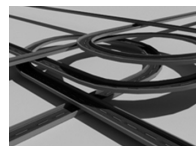
高速道インターチェンジ案内

インターチェンジの手前でお知らせします。



高速道ジャンクション案内

ジャンクションの手前でお知らせします。



はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

警告内容

警告画面（リアル CG）



県境アナウンス

県境をお知らせします。

- * 北海道、沖縄では対象エリアがないため、お知らせしません。



道の駅

一般道に併設されている道の駅をお知らせします。



ハイウェイオアシス

高速道に併設されているハイウェイオアシスをお知らせします。



サービスエリア

全国の高速道路に併設されているサービスエリアを登録しています。ガソリンスタンドが併設されている場合は、ガソリン価格なども併せてお知らせします。（P62 参照）



- * 表示された価格と実際の価格は異なる場合があります。



パーキングエリア

全国の高速道路に併設されているパーキングエリアを登録しています。ガソリンスタンドが併設されている場合は、ガソリン価格なども併せてお知らせします。（P62 参照）



- * 表示された価格と実際の価格は異なる場合があります。

警告内容

警告画面（リアル CG）

スマートインターチェンジ

高速道路にある、一部のサービスエリア、パーキングエリアに併設されている ETC 専用の出入り口です。ガソリンスタンドが併設されている場合は、ガソリン価格なども併せてお知らせします。（P62 参照）



- * 表示された価格と実際の価格は異なる場合があります。



小学校



中学校



高等学校

学校付近でお知らせします。



鉄道駅

全国各地の鉄道駅を登録しています。



踏切

踏切付近でお知らせします。



ユーザーポイント

ユーザーメモリで記録したポイントを案内します。（P57 参照）



警告内容

警告画面 (リアル CG)

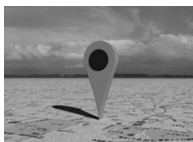
**自宅案内**

自宅から約 200m 圏内に入ると案内します。

* 事前に自宅を記録する必要があります。(P48参照)

**GPSスポット**

追加された GPS スポットを案内します。(P59 参照)

**ハイウェイラジオ受信エリア**

高速道路にあるハイウェイラジオの受信できるエリアをお知らせします。

**ゾーン30**

生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域(ゾーン30)をお知らせします。

**冠水注意**

国土交通省が発表している大雨時の道路冠水注意箇所をお知らせします。

**環状交差点**

道路交通法で新たに制定された環状交差点(ラウンドアバウト)をお知らせします。



はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

各種無線警告

- * 各種無線（350.1MHzを除く）の警告は、連続的に受信すると自動的に画面表示のみとなり、警告音やボイスアシスト（音声）をミュート（消音）します。

警告内容

警告画面（リアル CG）

350.1MHz

主に速度取締り現場などで、測定係と停止係の間で使用される無線です。無線の会話を聞くことができます。



警察デジタル無線

主に警察関係車両と本部との連絡に使用される無線です。

警察活動無線

主に機動隊の連絡に使用される無線です。

署活系無線

警察署の管轄区域単位で、警察署と警察官、または警察官同士の通信に使用される無線です。

取締特小無線

路上での取締り現場などで使用される無線です。

警察電話無線

警察関連の自動車電話などで使用される無線です。

バリケードアラーム

検問などがおこなわれている可能性が高いと判断した場合にお知らせします。



消防無線

消防署と消防関係車両などの連絡に使用される無線です。



警告内容

警告画面（リアル CG）

カーロケーター

警察関係車両などに搭載され、GPS 信号により算出された自車位置情報をセンターなどに送信するシステムです。カーロケーターを受信すると、アラームとテキストでお知らせします。

（例）カーロケ [1km 以内]



- * 本機は407.725MHzのカーロケーターのみ受信できません。
- * カーロケーターシステムは、導入されていない地域、搭載されていない車両、システムの変更などの理由により、受信・警告できない場合があります。
- * 警察関連車両に追尾されていても、カーロケーターを受信しない場合があります。カーロケーターシステムはすべての警察関連車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。
- * 一部地域ではシステムが異なる場合もあります。このような場合には警察関連車両の接近をお知らせすることができません。
- * カーロケーターの感度（P42参照）が「ロー」の場合、500m以上の警察車両は受信できません。

ヘリテレ無線

事件、事故、取締りなどで、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。無線の会話を聞くことができます。



消防ヘリテレ無線

災害時などにヘリコプターと地上間で使用される無線です。

- * 一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。



救急無線

主に東京都内で使用される救急無線です。



警告内容

警告画面（リアル CG）

ハイウェイ無線

各 NEXCO のパトロール車両と本部の間で使用する無線です。無線の会話を聞くことができます。

- * デジタル通信の場合、会話を聞くことはできません。



警備無線

各警備会社で使用する無線です。



レッカー無線

駐車違反や事故処理などでレッカー業者が使用する無線です。無線の会話を聞くことができます。



- * レッカー無線は簡易業務用無線のため、その他業種の無線も受信します。あらかじめご了承ください。
- * 車両の走行速度が約50km/h以上の場合、レッカー無線は受信しません。

レーダー警告

- * レーダーの受信レベルは、警告案内画面の上部にテキストで表示されます。（P29参照）

警告内容

警告画面（リアル CG）

レーダー警告

レーダーをお知らせします。アラームはレーダーの強さによって変化します。

- * 警告がはじまって約30秒後、警告音量が自動的に小さくなります。



ステルスアラーム

瞬時の強いレーダーをステルス波と識別してお知らせします。

- * 警告がはじまって約10秒後、警告音量が自動的に小さくなります。
- * ステルスアラームはステルス波の性質上、余裕をもってお知らせできません。

対向車線レーダー警告
オートキャンセル

レーダーを使用した速度取締機が対向車線に設置されている場合、走行速度が制限速度以下なら、警告は自動的にキャンセルされます。



はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

各種設定の変更

40～55ページの各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

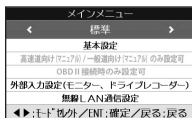
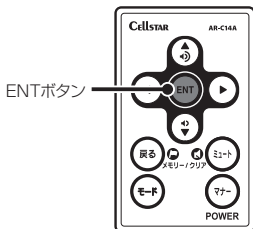
OBD II 設定の項目を変更する場合は、オプションの OBD II アダプター (RO-116/RO-115) を使用して接続しておく必要があります。(P71参照)

外部入力設定の項目を変更する場合は、あらかじめ外部入力設定を「オン (待受/警告/ドライブレコーダー連携)」にしておく必要があります。(P69参照)

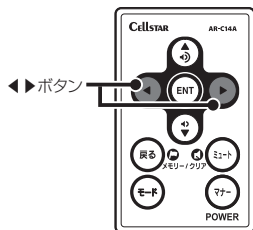
✓ アドバイス

OBD II 設定は、設定モード (モードセレクト) とは関係なくオプションの OBD II アダプターを取り付けた際に設定できる内容です。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替える

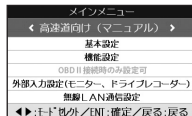


2 ◀▶ボタンを押して設定モード (モードセレクト) を切り替える

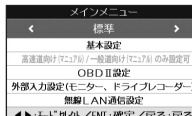


選択している設定モードの種類やOBD II アダプターの接続の有無などによって、画面に表示される項目は異なります。

マニュアル選択時

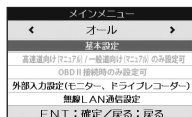
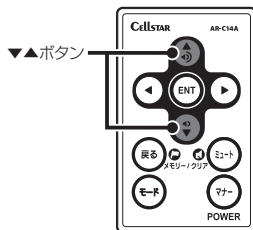


OBD II接続時



* 機能設定の項目を変更したいときは、「高速道向け (マニュアル)」または「一般道向け (マニュアル)」に設定モードを切り替えてください。

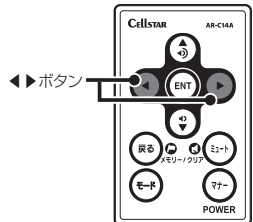
3 ▼▲ボタンを押して変更する設定項目を選び、ENTボタンを押す



<例>
設定項目から「基本設定」を選んだ場合

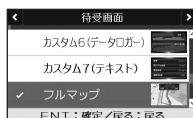
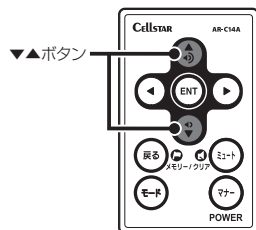
4 ◀▶ボタンを押して変更する設定メニューを選ぶ

* ▶ボタンまたは◀ボタンを長く押し続けると、メニューが順次切り替わります。



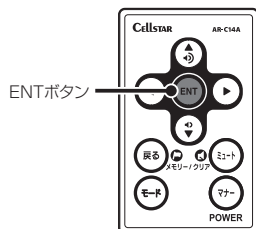
<例>
設定メニューから「待受画面」を選んだ場合

5 ▼▲ボタンを押して設定内容を切り替える



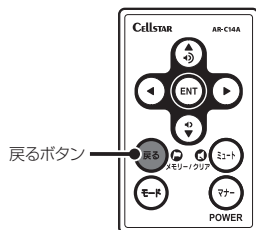
<例>
設定内容から「フルマップ」を選んだ場合

6 ENTボタンを押して設定を確定する



7 引き続き他の設定を変更する場合は、 ◀▶ボタンを押して設定メニューを選ぶ

設定を終了してメインメニュー画面または待受画面に戻る場合は、**戻るボタン**を押します。また何もボタンを押さなければ、メインメニュー画面、待受画面の順に戻ります。



はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

機能設定一覧

設定内容を変更する手順は、38ページをご覧ください。

設定メニュー (◀▶ボタン)	メニューの説明
取締機	取締機を警告する道路の種類を設定します。
N システム	N システムを警告する道路の種類を設定します。
取締りポイント	取締りポイントを警告する道路の種類を設定します。
待伏せエリア	待伏せエリアを警告する道路の種類を設定します。
移動オービス設置ポイント	移動オービス設置ポイントを警告するか設定します。
制限速度切替り	制限速度が切り替わるポイントを警告するか設定します。 * 制限速度よりも走行速度が速い場合は、「スピードに注意してください。」と警告します。
過積載取締機	過積載取締機を警告する道路の種類を設定します。
高速道速度取締機予告	都市間高速道上(首都高速など都市高速を除く)の速度取締機を約 5km 手前で警告するか設定します。 * 分岐や合流では案内しない場合があります。
警察署	警察署 / 交通警察隊を警告する道路の種類を設定します。
交通検問所	交通検問所を警告する道路の種類を設定します。
ゾーン 30	ゾーン 30 に設定された区域を警告するか設定します。
駐車禁止エリア	駐車禁止エリアを警告するか設定します。
盗難多発エリア	盗難多発エリアを警告するか設定します。
高速道インターチェンジ案内	高速道インターチェンジを案内するか設定します。
高速道ジャンクション案内	高速道ジャンクションを案内するか設定します。
急カーブ	急カーブを案内する道路の種類を設定します。
事故多発エリア	事故多発エリアを案内する道路の種類を設定します。
事故多発路線	事故多発路線を案内する道路の種類を設定します。
トンネル案内	全長 1km 以上のトンネルで、安全運転に向けた 3 つの案内をする道路の種類を設定します。 ・トンネル入口案内 ・トンネル出口案内 ・トンネル内急加減速警告 * 個別のオン/オフの設定はできません。
高速道凍結注意アナウンス	高速道の凍結注意を警告するか設定します。
道の駅	道の駅 / ハイウェイオアシスを案内する道路の種類を設定します。
サービスエリア	サービスエリアを案内するか設定します。
県境アナウンス	県境をお知らせする道路の種類を設定します。

- * 設定モード（モードセレクト）が「オール」、「標準」の場合は、機能設定の項目は変更できません。項目を変更する場合は、あらかじめ「高速道向け（マニュアル）」または「一般道向け（マニュアル）」に切り替えてください。
- * 電源を切っても各設定は保存されます。
- * 設定モード（モードセレクト）ごとの項目は、初期設定の内容です。

設定モード（モードセレクト）					設定内容 (▼▲ボタン)	参照
オール	標準	高速道向け (マニュアル)	一般道向け (マニュアル)			
オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール ハイウェイ シティ	: 高速道 / 一般道に対して警告します。 : 高速道に対して警告します。 : 一般道に対して警告します。	P31
オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール	: 高速道 / 一般道に対して警告します。	P32
オール	オール	ハイウェイ	シティ	ハイウェイ	: 高速道に対して警告します。	P32
オール	オール	ハイウェイ	シティ	シティ	: 一般道に対して警告します。	P32
オール	オール	ハイウェイ	シティ	オフ	: 警告しません。	P32
オン	オン	オフ	オン	オン オフ	: 警告します。 : 警告しません。	P32
オール	標準	標準	標準	オール 標準 オフ	: すべてのポイントに対して警告します。 : 制限速度が下がるポイントのみ警告します。 : 警告をしません。	P33
オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール ハイウェイ シティ オフ	: 高速道 / 一般道に対して警告します。 : 高速道に対して警告します。 : 一般道に対して警告します。 : 警告しません。	P32
オン	オン	オン	オフ	オン オフ	: 警告します。 : 警告しません。	P30
オール	オフ	オフ	オフ	オール	: 高速道 / 一般道に対して警告します。	P30
オール	オール	ハイウェイ	シティ	ハイウェイ シティ オフ	: 高速道に対して警告します。 : 一般道に対して警告します。 : 警告しません。	P30
オン	オフ	オフ	オフ	オン	: 警告します。	P35
オン	オフ	オフ	オフ	オフ	: 警告しません。	P32
オン	オフ	オフ	オフ	オン	: 案内します。	P33
オン	オフ	オフ	オフ	オフ	: 案内しません。	P33
オール	オフ	オフ	オフ	オール	: 高速道 / 一般道に対して案内します。	P33
オール	オフ	オフ	オフ	ハイウェイ	: 高速道に対して案内します。	P33
オール	オフ	オフ	オフ	シティ	: 一般道に対して案内します。	P33
オール	オフ	オフ	オフ	オフ	: 案内しません。	P33
オール	オフ	オフ	オフ	オール ハイウェイ シティ オフ	: 高速道 / 一般道に対して案内します。 : 高速道に対して案内します。 : 一般道に対して案内します。 : 案内しません。	P33
オン	オフ	オフ	オフ	オン オフ	: 警告します。 : 警告しません。	P33
オール	オフ	オフ	オフ	オール ハイウェイ シティ オフ	: 高速道 / 一般道に対して案内します。 : 高速道に対して案内します。 : 一般道に対して案内します。 : 案内しません。	P34
オン	オフ	オフ	オフ	オン オフ	: 案内します。 : 案内しません。	P34
オール	オフ	オフ	オフ	オール ハイウェイ シティ オフ	: 高速道 / 一般道に対して案内します。 : 高速道に対して案内します。 : 一般道に対して案内します。 : 案内しません。	P34

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

機能設定一覧（つづき）

設定内容を変更する手順は、38ページをご覧ください。

設定メニュー (◀▶ボタン)	メニューの説明
交番	交番 / 派出所 / 駐在所をお知らせするか設定します。
消防署	消防署をお知らせするか設定します。
鉄道駅	鉄道駅をお知らせするか設定します。
踏切	踏切をお知らせするか設定します。
小学校	小学校をお知らせするか設定します。
中学校	中学校をお知らせするか設定します。
高等学校	高等学校をお知らせするか設定します。
ハイウェイラジオ受信エリア	ハイウェイラジオの受信エリアをお知らせするか設定します。
冠水注意	冠水注意をお知らせするか設定します。
環状交差点	環状交差点をお知らせするか設定します。
レーダー感度	レーダーの受信感度を設定します。
L.S.C.	レーダー警告音を自動的にキャンセルする速度を設定します。
カーロケ	カーロケーターを受信する感度を設定します。
350.1MHz	350.1 MHz 無線を警告するか設定します。
デジタル無線	デジタル無線を警告するか設定します。
警察活動無線	警察活動無線を警告するか設定します。
署活系無線	署活系無線を警告するか設定します。
取締特小	取締特小無線を警告するか設定します。
警察電話	警察電話を警告するか設定します。
ヘリテレ無線	ヘリテレ無線を警告するか設定します。
レッカー無線	レッカー無線を警告するか設定します。
消防無線	消防無線を警告するか設定します。
消防ヘリテレ	消防ヘリテレ無線を警告するか設定します。
救急無線	救急無線を警告するか設定します。
ハイウェイ無線	ハイウェイ無線を警告するか設定します。
警備無線	警備無線を警告するか設定します。

- * 設定モード（モードセレクト）が「オール」、「標準」の場合は、機能設定の項目は変更できません。項目を変更する場合は、あらかじめ「高速道向け（マニュアル）」または「一般道向け（マニュアル）」に切り替えてください。
- * 電源を切っても各設定は保存されます。
- * 設定モード（モードセレクト）ごとの項目は、初期設定の内容です。

	設定モード（モードセレクト）				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
	オール	標準	高速道向け (マニュアル)	一般道向け (マニュアル)		
	オン	オフ	オフ	オフ	オン オフ	P32
	オン	オフ	オフ	オフ		P33
	オン	オフ	オフ	オフ		P34
	オン	オフ	オフ	オフ		P34
	オン	オフ	オフ	オフ		P34
	オン	オフ	オフ	オフ		P34
	オン	オフ	オフ	オフ		P34
	オン	オフ	オフ	オフ		P35
	オン	オフ	オフ	オフ		P35
	オン	オフ	オフ	オフ		P35
	エクストラ	エクストラ	エクストラ	エクストラ	エクストラ : 受信感度を「高」に固定します。 ウルトラ : 受信感度を「中」に固定します。 スーパー : 受信感度を「低」に固定します。	—
	30 キロ	30 キロ	50 キロ	30 キロ	30 キロ : 30km/h 以下のときにキャンセルします。 40 キロ : 40km/h 以下のときにキャンセルします。 50 キロ : 50km/h 以下のときにキャンセルします。 60 キロ : 60km/h 以下のときにキャンセルします。 オフ : L.S.C. を設定しません。	—
	感度ハイ	感度ハイ	感度ハイ	感度ハイ	感度ハイ : 受信感度を 1km 範囲に広げます。 感度ロー : 受信感度を 500m に範囲を狭めます。 オフ : カーロケを設定しません。	P36
	オン	オン	オン	オン	オン オフ	P36
	オン	オン	オン	オン		P36
	オン	オフ	オフ	オフ		P36
	オン	オフ	オフ	オフ		P36
	オン	オフ	オフ	オフ		P36
	オン	オフ	オフ	オフ		P36
	オン	オフ	オフ	オフ		P36
	オン	オフ	オフ	オフ		P36
	オン	オフ	オフ	オフ		P36
	オン	オフ	オフ	オフ		P36
	オン	オフ	オフ	オフ		P36
	オン	オフ	オフ	オフ		P37
	オン	オフ	オフ	オフ		P37

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

基本設定一覧

設定内容を変更する手順は、38ページをご覧ください。

設定メニュー
(◀▶ボタン)

メニューの説明

待受画面

待受状態のときに表示される画面を設定します。

テロップ表示

待受画面や警告案内画面に表示するテロップ情報を設定します。

デジタルフォトフレーム設定

待受画面「デジタルフォトフレーム」のスライドショーの表示間隔を設定します。

マップアイコン表示設定

待受画面「フルマップ」に表示する GPS 警告のアイコン（P31 ～ P35 参照）を設定します。

マップアイコンズーム

待受画面「フルマップ」時、警告しているアイコンを拡大してお知らせするか設定します。

マップモード

待受画面「フルマップ」に表示する地図の種類を設定します。

LED イルミ

LED イルミネーションランプの点灯方法を設定します。

LED イルミ色

LED イルミネーションランプを点灯、点滅させる際の色を設定します。

画面 明るさ 昼間

昼間の画面の明るさを設定します。

画面 明るさ 夜間

夜間の画面の明るさを設定します。

* 設定モード(モードセレクト)ごとの項目は、初期設定の内容です。

設定モード (モードセレクト)				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
オール	標準	高速道向け (マニュアル)	一般道向け (マニュアル)		
	フルマップ			クラシックメーター / アナログ時計 / デジタル時計 / ベーシック 1 / ベーシック 2 / ベーシック 3 / カスタム 1 (燃費系) / カスタム 2 (スポーツ系) / カスタム 3 (表示系 6 個) / カスタム 4 (表示系 2 個) / カスタム 5 (OBD II系) / カスタム 6 (データロガー) / カスタム 7 (テキスト) / トヨタ HV1 / トヨタ HV2 / フルマップ / コンテンツダウンロード / カメラ / カメラ&フルマップ / デジタルフォトフレーム / オフ * トヨタ HV1 / トヨタ HV2 は OBD II で トヨタ HV 設定 時のみ選択可能。	P18 ` P28
	道路識別 (警告時のみ) レーダー受信レベル (警告時のみ) 取締機通過速度 (警告時のみ) 公開交通取締情報 (待受時のみ) 走行速度 ロード自動選択 無線 LAN 時間 おしらせ (待受時のみ) 警告予告 GPS	オン オン オン オン オン オン オフ オフ オン オン オフ	道路識別 (警告時のみ) レーダー受信レベル (警告時のみ) 取締機通過速度 (警告時のみ) 公開交通取締情報 (待受時のみ) 走行速度 ロード自動選択 無線 LAN 時間 おしらせ (待受時のみ) 警告予告 GPS	オン : 表示します。 オフ : 表示しません。	P18
	3 秒			3 秒 : 3 秒ごとに画像を切り替えます。 5 秒 : 5 秒ごとに画像を切り替えます。 10 秒 : 10 秒ごとに画像を切り替えます。 30 秒 : 30 秒ごとに画像を切り替えます。	P20
	オール			オール : すべてのアイコンを表示します。 取締機のみ : 取締機のアイコンのみを表示します。 取締機、取締りポイント : 取締機、取締りポイントの アイコンのみを表示します。	P29
	オフ			オン : アイコンを拡大して表示します。 オフ : アイコンを拡大して表示しません。	P29
	2D 朝昼夜オート切替			2D 朝昼夜オート切替 2D 昼間 2D 夜間 3D 朝昼夜オート切替 3D 昼間 3D 夜間	P66
	オン			オン : 点灯します。 オフ : 点灯しません。 パルス : 脈動点滅します。	P15
	レッド			ホワイト / レッド / オレンジ / イエロー / グリーン / ブルーグリーン / ブルー / パープル / レインボー	—
	1			1 : 画面の輝度を最大にします。 ↓	—
	4			3 : 画面の輝度を標準にします。 ↓ 4 : 画面の輝度を最小にします。	—

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

基本設定一覧（つづき）

設定内容を変更する手順は、38ページをご覧ください。

設定メニュー (◀▶ボタン)	メニューの説明
ロード自動選択	道路の種類に適した GPS 警告をお知らせするために、走行している道路の種類（高速道 / 一般道）を自動で判別するか設定します。 * 道路の種類が一般道か高速道かを自動で判別し、警告内容を設定するため、走行状態によっては実際と異なる設定になる場合があります。確実に警告を出したい場合は、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。
アナウンス設定	アナウンスの音声パターンを設定します。
警告パターン	各種警告を表示する際のパターンを設定します。 * スマート警告を表示する場合は、スマート警告用画像が記録されたmicroSDカードを本機に挿入しておく必要があります。 * ライブビュー警告をおこなう場合は、オプションのフロントカメラ（RO-113/RO-114）や当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーを接続しておく必要があります。
速度取締機制限速度超過警告	速度取締機の制限速度に対して指定の速度を超過したときに警告するか設定します。
速度取締機回避アナウンス	速度取締機とユーザーメモリを判定エリア内で回避したときにお知らせするか設定します。
取締機前下り坂警告	取締機とユーザーメモリの警告時、気圧センサーによって取締機とユーザーメモリ手前の道が下り坂と判定された場合に音声で警告するか設定します。 * 「速度取締機カウントダウン」設定時は、警告しません。 * 外部環境、走行速度、下り坂の角度などの条件により警告しない場合があります。
速度取締機カウントダウン	GPS 警告時に、取締機までの距離約 1km 手前から約 200m 手前の間、100m 刻みでお知らせするか設定します。
速度取締機優先警告	速度取締機の警告の開始から終了まで、他の警告をおこなわないか設定します。
平均速度超過警告	当社が設定した計測ポイント間での平均速度を計測し、走行している道路の制限速度から超過している場合、音声で警告するか設定します。 * 制限速度切替りポイントでは、そこまでの平均速度をお知らせし、再度そこからの平均速度の計測をおこないます。 * 高速道を降り、一般道を走行中、40km/h を下回らない場合、一般道でも案内することがあります。 * 平均速度超過警告機能は、当社が独自に設定した計測ポイントを40km/h以上で通過した場合に平均速度の計測を開始します。 * 40km/h を下回った場合、平均速度超過警告機能を終了し、そこまでの平均速度をお知らせします。 * マナーモード中はお知らせしません。
警告カラーフィルター	警告画面を表示する際に、画面全体を枠の色に合わせて点滅させるか設定します。 赤色：危険度大 黄色：危険度中 青色：危険度小
スクリーンセーバー	画面の焼きつきなどを軽減するスクリーンセーバー機能を実行するか設定します。 * 設定をオンにした場合、待受時間が約1分間経過すると実行します。
飲酒運転禁止	電源を入れたときに表示されるオープニング画面で、飲酒運転を警告するか設定します。 * 夜間に限ります。

* 設定モード(モードセレクト)ごとの項目は、初期設定の内容です。

	設定モード (モードセレクト)				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
	オール	標準	高速道向け (マニュアル)	一般道向け (マニュアル)		
		オン			オン : 自動で道路の種類を判別します。 オフ : 自動で道路の種類を判別しません。	—
		女性			女性 : 女性の声でアナウンスします。 男性 : 男性の声でアナウンスします。	P64
		リアル CG			スマート警告 : スマート警告で警告します。 リアル CG : リアル CG で警告します。 音声 : 待受画面を表示したまま音声で警告します。 カメラ : 本機に接続したフロントカメラやドライブレコーダーの映像を表示し、ライブビュー警告します。	P29 P31
		無し			無し / 0 キロ / 5 キロ / 10 キロ / 15 キロ / 20 キロ / 30 キロ	P62
		オフ			オン : お知らせします。 オフ : お知らせしません。	P55
		オフ			オン : 警告します。 オフ : 警告しません。	P62
		オフ			オン : お知らせします。 オフ : お知らせしません。	P30
		オフ			オン : 実行します。 オフ : 実行しません。	—
		オフ			オン : 警告します。 オフ : 警告しません。	P33
		オフ			オン : 実行します。 オフ : 実行しません。	P29
		オフ			オン : 実行します。 オフ : 実行しません。	—
		オン			オン : 警告します。 オフ : 警告しません。	P17

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

基本設定一覧（つづき）

設定内容を変更する手順は、38ページをご覧ください。

設定メニュー (◀▶ボタン)	メニューの説明
安全運転アナウンス	安全運転に向けた 4 つのアドバイスをお知らせするか設定します。 ・長時間運転休憩案内 : 電源が入ってから 2 時間後（以降 2 時間ごと）にお知らせします。 ・長距離走行案内 : 電源が入ってから 100km 走行後（以降 100km ごと）にお知らせします。 ・ヘッドライト点灯案内 : 日没時刻にお知らせします。 ・居眠り注意 : 電源が入ってから 1 時間後に、午前 0 時から 4 時までの間、30 分ごとにお知らせします。 * 個別のオン/オフの設定はできません。 * マナーモード中はお知らせしません。
ES インフォメーション	運転中の急加速、急減速、急ハンドル、エコ走行などから、省燃費運転に向けたアドバイスをお知らせするか設定します。 * マナーモード中はお知らせしません。
GPS 測位アナウンス	GPS の測位を音声でお知らせするか設定します。
シートベルト着用案内	電源を入れたときに表示させるオープニング画面で、シートベルト着用を警告するか設定します。
日差し注意	太陽の位置が低いため運転時に日光がまぶしく感じる朝と夕方に、注意をお知らせするか設定します。 * マナーモード中はお知らせしません。
速度アラーム	走行速度が超えたときにアラームで警告する上限速度を設定します。 * マナーモード中はお知らせしません。
速度アラーム音	速度アラーム警告時に流れる音の種類を設定します。 * マナーモード中はお知らせしません。
時報アナウンス	毎正時に時刻をボイス（音声）またはチャイム音でお知らせするか設定します。 * マナーモード中はお知らせしません。
マナーモード	レーダー受信時、GPS 警告時、無線受信時にボイスアシスト（音声）と警告音を出力せず、メロディと画面表示だけで注意を促すか設定します。
自宅	自宅の約 200m 圏内で、自宅の案内をするか設定します。 * 自宅、もしくはその近辺で記録する必要があります。
公開交通取締情報表示機能	各都道府県で一般公開されている市区町村ごとの取締情報、または現在地を待受画面で表示するか設定します。

* 設定モード(モードセレクト)ごとの項目は、初期設定の内容です。

設定モード (モードセレクト)				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
オール	標準	高速道向け (マニュアル)	一般道向け (マニュアル)		
	オン			オン : お知らせします。 オフ : お知らせしません。	—
	オフ			オン : お知らせします。 オフ : お知らせしません。	—
	オン			オン : お知らせします。 オフ : お知らせしません。	—
	オン			オン : 警告します。 オフ : 警告しません。	P17
	オフ			オン : お知らせします。 オフ : お知らせしません。	—
	オフ			30 キロ : 30km/h を超えた場合、警告します。 40 キロ : 40km/h を超えた場合、警告します。 50 キロ : 50km/h を超えた場合、警告します。 60 キロ : 60km/h を超えた場合、警告します。 70 キロ : 70km/h を超えた場合、警告します。 80 キロ : 80km/h を超えた場合、警告します。 90 キロ : 90km/h を超えた場合、警告します。 100 キロ : 100km/h を超えた場合、警告します。 110 キロ : 110km/h を超えた場合、警告します。 120 キロ : 120km/h を超えた場合、警告します。 130 キロ : 130km/h を超えた場合、警告します。 オフ : 警告しません。	—
	アラーム 1			アラーム 1 アラーム 2 アラーム 3	—
	ボイス			ボイス チャイム 1 チャイム 2 オフ : お知らせしません。	—
	オフ			オン : 実行します。 オフ : 実行しません。	P64
	—			記録 消去 : 自宅の位置を記録します。 消去 : 自宅の位置を消去します。	P35
	オフ			オン : 走行している市区町村の公開交通取締情報をテロップ表示でお知らせします。 オフ : お知らせしません。	P58

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

基本設定一覧（つづき）

設定内容を変更する手順は、38ページをご覧ください。

設定メニュー (◀▶ボタン)	メニューの説明
リマインダー	オイルやバッテリーの交換時期、車検、免許の更新、記念日などの情報を当日にお知らせするか設定します。 * あらかじめ、お知らせする時期や走行距離（OBDⅡ接続時）などを設定しておく必要があります。
走行ログ	走行ログを記録するかを設定します。
走行ログ転送	内部メモリに記録された走行ログを転送または消去します。
GPS スポット	microSD カードから本機へ GPS スポットをインポートします。
表示速度補正	車両のスピードメーターと GPS や OBDⅡから取得されるレーダーデテクターの速度表示の誤差を補正します。 * 表示速度補正をおこなうと、実際の走行速度にならない場合があります。
ASSURA+Link アイコン信頼度	ASSURA+Link に投稿されたポイント情報を待受画面「フルマップ」にアイコン表示する際、投稿されたポイントの信頼度によってフィルタリングをおこないアイコン表示の有無を設定します。 * 投稿されたポイントの信頼度は、会員様同士での評価（Good、Badの合計値）によって算出されます。 * アイコンを表示するには、無線LANでのインターネット接続が必要です。（P76参照）
ASSURA+Link フィルタリング	ASSURA+Link に投稿されたポイント情報を待受画面「フルマップ」にアイコン表示する際、投稿されたポイントの種類によって個別にアイコン表示の有無を設定します。 * アイコンを表示するには、無線LANでのインターネット接続が必要です。（P76参照）
無線 LAN 通信間隔	登録した家庭内無線 LAN（Wi-Fi）やスマートフォン（テザリング）のアクセスポイントに接続し、GPS データや公開交通取締情報、高速道ガソリンスタンド価格案内の更新データなどを ASSURA+Link に自動チェックする通信間隔を設定します。 更新データがあった場合は、データの種類とダウンロードの有無をお知らせします。
メモリ消去	設定ごとのカスタマイズしたメモリをリセットします。
データ情報	GPS データ、スマート警告用画像、フルマップデータ、公開交通取締情報および高速道ガソリンスタンド価格案内のバージョンを表示します。 各種データやスマート警告用画像を更新する際の目安としてお使いください。
初期化	本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。
本体ソフトウェアの情報	当社のウェブサイトからインターネット経由で本体ソフトウェアをダウンロードし、更新できます。

* 設定モード(モードセレクト)ごとの項目は、初期設定の内容です。

	設定モード (モードセレクト)				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
	オール	標準	高速道向け (マニュアル)	一般道向け (マニュアル)		
	—				オイル交換 / オイルエレメント交換 / タイヤローテーション / バッテリー交換 / 車検 / 点検 / 免許更新 / 記念日 / 誕生日	P63
	オフ				オン : 走行ログを記録します。 オフ : 走行ログを記録しません。	P60
	—				転送 : 走行ログを microSD カードに転送します。 消去 : 走行ログを消去します。	P60
	—				インポート開始	P59
	+0%				+0% : 補正しません。 +3% : 速度 103km/h までの差を補正します。 +5% : 速度 105km/h までの差を補正します。 +7% : 速度 107km/h までの差を補正します。 +10% : 速度 110km/h までの差を補正します。	—
	機能オフ				高 : 信頼度 5 以上のみをアイコン表示します。 中 : 信頼度 0 以上のみをアイコン表示します。 低 : 信頼度 - 5 以上のみをアイコン表示します。 機能オフ : 本機能を利用しません。	P79
	オービス ループコイル H システム LH システム NH システム 信号無視監視機 取締ポイント 休憩スポット 公衆トイレ N システム ガンリンスタンド EV 充電スポット	オン オン オン オン オン オン オン オン オン オン オン オン	オン オン オン オン オン オン オン オン オン オン オン オン	オービス ループコイル H システム LH システム NH システム 信号無視監視機 取締ポイント 休憩スポット 公衆トイレ N システム ガンリンスタンド EV 充電スポット	オン : 表示します。 オフ : 表示しません。	P80
	5 分				3 分 : 3 分ごとに通信します。 5 分 : 5 分ごとに通信します。 10 分 : 10 分ごとに通信します。	P78
	—				ユーザーメモリ GPS スポット プリセットポイント レーダーキャンセルエリア スキップメモリ	P56 P60 P65
	—				—	P60
	—				本体初期化	P67
	—				—	P67

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

OBD II 設定一覧

設定内容を変更する手順は、38ページをご覧ください。

設定メニュー
(◀▶ボタン)

メニューの説明

OBD II 車両メーカー

ご利用の車両メーカーを設定します。

- * 必ず当社ホームページ (<http://www.cellstar.co.jp>) よりOBD II 適合表を確認して、ご利用の車両に合った設定にしてください。
- * 一部のOEM車両などでは、車両メーカーと設定内容が合わない場合があります。

OBD II メモリーリセット

OBD II設定のすべての項目をデータリセット条件に従いリセットします。

OBD II ダミーセキュリティー

ダミーセキュリティー LED ランプの点滅パターンを設定します。

OBD II 燃料単価

1 リッターあたりの燃料費を設定します。

OBD II 満タン燃費補正

走行距離と給油量を本機に入力し、本機内部の燃費算出係数の調整をおこないます。
* 数回実行することで、より正確な燃費を算出することができます。

OBD II 簡易故障診断

電源を ON、または「開始」を選択したときに OBD IIの車両故障診断情報を取得し、エンジン系統の故障の有無を表示します。

- * OBD II 設定は、設定モード（モードセレクト）とは関係なくオプションのOBD II アダプターを取り付けた際に設定できる内容です。
- *  の部分は、車両メーカーが設定されていないと設定できません。
- * 車両メーカーごとに取得可能な情報が異なるため、設定内容を選択・変更できない場合があります。

初期設定	設定内容 (▼▲ボタン)	参照
未設定	未設定 トヨタ（レクサス）HV トヨタ（レクサス） ニッサン 1/2 ホンダ 1/2 ミツビシ マツダ スバル スズキ ダイハツ * トヨタ（レクサス）HVは、オプションのOBD II アダプター（RC-116）をトヨタ（レクサス）のハイブリッド車に接続した際に選択できます。	P72
—	開始 : 設定をリセットします。	P23 - P28
オフ	オン 1 : 2 秒ごとに 1 回点滅します。 オン 2 : 2 秒ごとに 2 回点滅します。 オフ : 設定しません。	P72
100 円	リッター単価	—
—	満タン給油時に開始 走行距離 給油量 補正完了	P73
オフ	オン : 故障があった場合、割り込み通知をおこないます。 オフ : 割り込み通知をおこないません。 開始 : 簡易故障診断をおこないます。	P73

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）一覧

設定内容を変更する手順は、69ページをご覧ください。

設定メニュー (▼▲ボタン)	メニューの説明
警告パターンカメラ	オプションのフロントカメラ（RO-113/RO-114）や当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーなど外部機器の映像を警告パターン「カメラ」として設定します。取締機位置を赤く表示します。
画像認識カメラタイプ	オプションのフロントカメラ（RO-113/RO-114）や当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーなど外部機器の映像画角を調節します。
画像認識カメラ設置ガイド	カメラを設置する際のガイド画面を表示します。
画像認識警告音	画像認識をおこない、車線逸脱時や恐れがある際に警告音でお知らせするか設定します。
画像認識スカウター表示	画像認識をおこない、走行車線や自車センター位置などのガイド情報を表示します。
ドライブレコーダー 設定画面表示	当社製ドライブレコーダー連携対応ドライブレコーダーの各種設定画面を表示します。

* 外部入力設定を変更する場合は、あらかじめ外部入力設定を「オン（待受/警告/ドライブレコーダー連携）」に設定しておく必要があります。

	初期設定	設定内容 (◀▶ボタン / ENT ボタン)	参照
	カメラ 1	カメラ 1 : カメラ映像と地図の 2 画面で警告します。 カメラ 2 : カメラ映像を全画面で警告します。	P69
	広角	広角 : 画像認識範囲を広角タイプに合わせます。 超広角 : 画像認識範囲を超広角タイプに合わせます。	—
	—	表示する	P68
	オフ	オン : お知らせします。 オフ : お知らせしません。	—
	オン	オン : 表示します。 オフ : 表示しません。	P70
	—	表示する	—

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

GPSを利用した機能

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPS測位が確定すると「GPSを測位しました。」とお知らせします。

✓ アドバイス

お問い合わせいただき、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが（15分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中、またはトリプルセンサーの計測中に限られます。

超速 GPS について

自車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

✓ アドバイス

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- 最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

業界最多の対応衛星

GPS、グロナス衛星、準天頂衛星みちびき、SBAS（ひまわり、GAGAN）5種類59基の衛星を受信可能。

- * 同時受信可能な衛星は最大32基に加え、SBASの最大2基を補足利用します。

GPS警告ポイントの消去

本機に登録されているGPS警告ポイントを消去することができます。この機能を使用することで、撤去された取締機などに対応することができます。

GPS警告ポイントの消去方法

消去したいポイントのGPS警告動作中に**戻るボタン**を約1秒間押し続けます。

操作結果を音声でお知らせします。

GPS警告ポイント消去機能のリセット

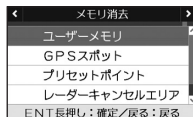
GPS警告ポイント消去機能で消去したポイントをすべてリセットし、復帰させます。

- * 個別での復帰はできません。一括での復帰となります。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

- * 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押して「プリセットポイント」を選ぶ

4 「プリセットポイント消去しました」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける

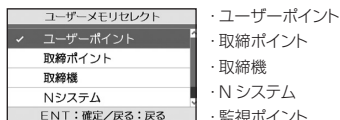
ユーザーメモリセレクト

現在地のポイント記録すると、ユーザーメモリとして案内します。記録したポイントは1km先から3ステップで案内します。

ユーザーメモリの記録

1 記録したいポイントで戻るボタンを押し続ける

記録に成功した場合、「ユーザーメモリセレクト」画面が表示されます。



2 ▼▲ボタンを押してポイントの種類を切り替える

* ポイントの種類を15秒間確定しない場合、ユーザーポイントとして記録されます。

3 ENTボタンを押して記録を確定する

■ ユーザーポイントとして記録した場合

結果	ボイスガイド
ポイント記録成功	ユーザーポイント記録しました。
ポイント記録失敗 (自車位置が計測できない)	GPS を測位できません。
ポイント記録失敗 (走行データなし)	ユーザーポイント記録できません。

✓ アドバイス

- 制限速度の設定はできません。
- 記録するには、GPSを測位した状態で約1km以上走行している必要があります。
- 記録した件数が100箇所を越えると、100箇所目のポイントは上書きされます。

ユーザーメモリの個別消去

設定したユーザーメモリのGPS警告動作中に、**戻るボタン**を押し続けます。

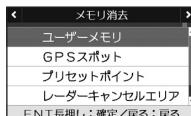
操作結果を音声でお知らせします。

ユーザーメモリの全消去

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押して「ユーザーメモリ」を選択する

4 「ユーザーメモリ消去しました」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける

✓ アドバイス

ユーザーメモリは、一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は、十分に注意しておこなってください。

レーダーキャンセルエリア

レーダー警告音が必要ないと思われるエリアでは、GPSを使って半径約200m圏内のレーダー警告音をキャンセル（消去）することができます。

＊ 最大で100箇所のポイントをキャンセルできます。

レーダーキャンセルエリアの記録

レーダー警告中に**ミュートボタン**を押し続けます。

＊ GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

結果	ボイスガイド
エリア記録成功	レーダーキャンセルエリア記録しました。
エリア記録失敗 (自車位置が計測できない)	GPSを測位できません。
エリア記録失敗 (その他の理由)	レーダーキャンセルエリア記録できません。

レーダーキャンセルエリアの確認

レーダーの受信レベルは、警告案内画面の上部にテキストで表示されます。(P29参照)

レーダーキャンセルエリアの個別消去

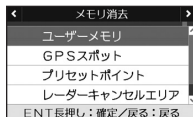
消去したいエリア内で**ミュートボタン**を押し続けます。

レーダーキャンセルエリアの全消去

1 **ENTボタン**を押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選び**ENTボタン**を押す

＊ 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 **◀▶ボタン**を押して「メモリ消去」を選ぶ



3 **▼▲ボタン**を押して「レーダーキャンセルエリア」を選ぶ

4 「レーダーキャンセルエリア消しました」とアナウンスされるまで**ENTボタン**を押し続ける

✓ アドバイス

レーダーキャンセルエリアは、一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は、十分に注意しておこなってください。

公開交通取締情報表示機能

各都道府県で一般公開されている市区町村ごとの取締情報、または現在地を待受画面で表示します。

「MyCellstar」からダウンロードした最新の公開交通取締情報データが入ったmicroSDカードを用意します。(P14参照) **▼ボタン**を長押しするとテロップ表示します。

常時テロップ表示

1 **ENTボタン**を押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選び**ENTボタン**を押す

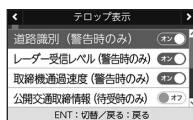
＊ 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 **◀▶ボタン**を押して「公開交通取締情報表示機能」を選ぶ



3 **▼▲ボタン**を押して「オン」を選び、**ENTボタン**を押す

4 ◀▶ボタンを押して「テロップ表示」を選ぶ



5 ▼▲ボタンを押して「公開交通取締情報 (待受時のみ)」を選ぶ



6 ENTボタンを押して「オン」を選ぶ

7 終了する場合は、戻るボタンを押す



✓ アドバイス

- 本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 公開交通取締情報は一般公開されている情報をもとに、独自にデータ化しています。更新のタイミングによりデータ化が間に合わない場合や、地域によってデータ化に対応していない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 公開交通取締情報以外でも、各市区町村にて取締りを実施している場合があります。
- 走行している場所によっては、表示するデータがあっても、正しい情報表示ができない場合があります。
- 公開交通取締情報がない場合は、現在地を表示します。

GPSスポット追加機能

「MyCellstar」で表示される地図から自分だけのポイントを設定するだけで、簡単にGPSスポットが追加できます。(P84参照)

詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

* 無線LANを使ったGPSスポットの転送方法は75ページをご覧ください。

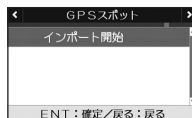
GPSスポットの追加

1 GPSスポットのデータを入れたmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する (P14参照)

2 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

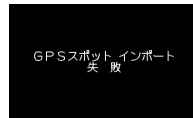
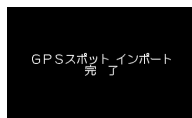
* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

3 ◀▶ボタンを押して「GPSスポット」を選ぶ



4 ENTボタンを押してGPSスポットをインポートする

インポートをおこなうと次のどちらかの画面が表示されます。GPSデータの更新に失敗した場合、専用サイト内の説明をよく読み、再度データの更新をおこなってください。



追加されたGPSスポットは約1km、500m手前で案内します。

✓ アドバイス

- インポート終了後は、microSDカードを抜いても案内しますが、設定した画像や音声は再生されません。

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

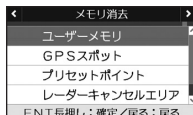
アフターサービス

GPSスポットの全消去

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押して「GPSスポット」を選ぶ

4 「GPSスポット消去しました」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける

各種データのバージョン確認

GPSデータ、スマート警告画像、フルマップデータ、公開交通取締情報、高速道ガソリンスタンド価格案内のデータ情報を確認できます。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「データ情報」を選ぶ



* 表示内容は、実際の製品とは異なります。

走行ログの記録と転送

走行ログ（NMEA準拠フォーマット）を内部メモリに記録し、microSDカードに転送することができます。作成したデータは、市販の地図ソフトを使って、地図上に走行経路を表示することができます。

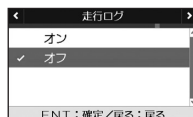
* 内部メモリには約9時間記録（約1Mバイト）できます。アイドリング中のデータは圧縮されます。

走行ログの記録を開始

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「走行ログ」を選ぶ



・オン
走行ログを記録

・オフ
走行ログを記録しない

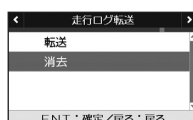
3 ▼▲ボタンを押して「オン」を選び、ENTボタンを押す

走行ログをmicroSDカードに転送

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「走行ログ転送」を選ぶ



・転送
内部メモリに記録されている走行ログをmicroSDカードに転送

・消去
内部メモリに記録されている走行ログを消去

3 ▼▲ボタンを押して「転送」を選び、ENTボタンを押す

GPSデータ更新

「MyCellstar」からダウンロードした最新のGPSデータが入ったmicroSDカードを用意します。(P84参照)
詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

* リモコンの操作はできません。

* 無線LANを使ったGPSデータの更新方法は76ページをご覧ください。

1 電源を切る（P15参照）

2 最新のGPSデータが入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する（P14参照）

3 電源を入れる

自動的にGPSデータが更新され、本体が再起動します。



* 途中、メッセージが変わります。

GPSデータのバージョンを確認します。(P60参照)



データの更新が失敗した場合、以下の画面が表示されるので電源を入れなおしてください。再度、自動的にデータの更新が開始します。



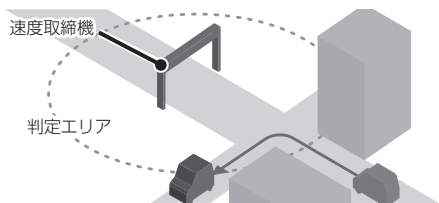
それでもデータの更新に失敗する場合は、「MyCellstar」のサイト内の説明をよく読み、再度データの更新をしていただくか、お客様相談窓口（裏表紙参照）へご連絡ください。

4 必要であればmicroSDカードを取り出す（P14参照）

速度取締機回避アナウンス

速度取締機とユーザーメモリを判定エリア内で回避した場合に音声案内します。

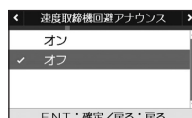
例）♪取締機 回避しました。



1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「速度取締機回避アナウンス」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押して「オン」を選び、ENTボタンを押す

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

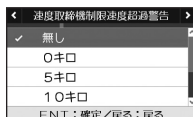
速度取締機制限速度超過警告

速度取締機の制限速度に対して指定の速度を超過したときに警告します。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「速度取締機制限速度超過警告」を選ぶ



無し/0キロ/10キロ/15キロ/20キロ/30キロ

3 ▼▲ボタンを押して超過した場合に警告する速度を選び、ENTボタンを押す



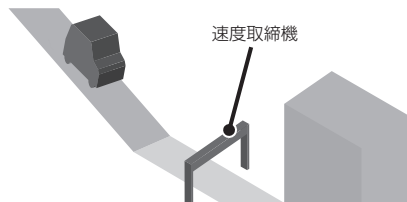
<例>
30キロを設定時に速度取締機を30キロ超過した場合

取締機前下り坂警告

取締機とユーザーメモリの警告時、気圧センサーによって取締機とユーザーメモリ手前の道が下り坂と判定された場合に音声で警告します。

- * 「速度取締機カウントダウン」設定時は、警告しません。
- * 外部環境、走行速度、下り坂の角度などの条件により警告しない場合があります。

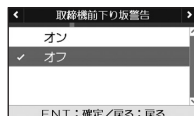
例) ▶500m先 首都高速 LHシステムに注意してください。下り坂です。



1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「取締機前下り坂警告」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押して「オン」を選び、ENTボタンを押す

通過速度履歴確認機能

速度取締機を通過したときの通過速度を画面表示と音声で確認することができます。

▼ボタンを3秒以上押し続けます。画面表示と音声で前回の通過速度をお知らせします。

* 履歴がない場合、「♪ブブ」和鳴ります。

✓ アドバイス

- 確認できる通過速度は、最後に計測した通過速度1件のみとなります。
- 本機の電源が切れると通過速度履歴データは消去されます。
- トンネル内速度取締機の通過速度履歴確認はできません。

高速道ガソリンスタンド価格案内機能

microSDカードスロットに高速道ガソリンスタンド価格案内が記録されたmicroSDカードを挿入しておく、サービスエリアやパーキングエリアをお知らせする際、併設されているガソリンスタンドのガソリン価格も併せてお知らせします。

詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

* 無線LANを使ったデータのダウンロードおよび更新方法は75ページをご覧ください。

* 表示された価格と実際の価格は異なる場合があります。

リマインダー機能

オイルやバッテリーの交換時期、車検、免許の更新日、記念日などの情報を事前に設定しておくで待受画面に表示したり、当日にお知らせします。

リマインダーの設定

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「リマインダー」を選びENTボタンを押す



3 ◀▶ボタンを押して設定メニューを選びENTボタンを押す



<例>

設定メニューから「オイル交換」を選んだ場合

4 お知らせする時期や走行距離（OBD II 接続時）を入力する

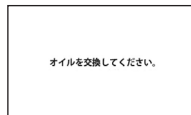
数値の桁移動は◀▶ボタンで、数値の入力は▼▲ボタンでこなします。

5 ENTボタンを押して設定を確定する

6 引き続き他の設定を変更する場合は、◀▶ボタンを押して設定メニューを選ぶ

設定を終了してメインメニュー画面または待受画面に戻る場合は、戻るボタンを押します。また何もボタンを押さなければ、メインメニュー画面、待受画面の順に戻ります。

設定した当日になると、下記のような画面でお知らせします。



* 画面表示中に戻るボタンを押してオフにしないと定期的にお知らせします。

✓ アドバイス

- オプションのOBD IIアダプター（RO-116/RO-115）を接続している場合は、設定内容が走行距離での登録に自動的に切り替わります。OBD IIを接続する前にすでに年月日で期間登録をおこなっていた場合は、期間表示の設定を継続してお知らせします。
- OBD II接続時に設定した内容は、OBD IIの接続を解除するとリセットされます。

設定メニュー	メニューの説明	設定内容
オイル交換	エンジンオイルの交換時期を設定します。	ヶ月後 : 通常設定時 走行距離 : OBD II接続時
オイルエレメント交換	オイルエレメントの交換時期を設定します。	ヶ月後 : 通常設定時 走行距離 : OBD II接続時
タイヤローテーション	タイヤローテーションの時期を設定します。	ヶ月後 : 通常設定時 走行距離 : OBD II接続時
バッテリー交換	バッテリーの交換時期を設定します。	年月日 : 通常設定時、OBD II接続時
車検	車検の時期を設定します。	
点検	点検の時期を設定します。	
免許更新	免許更新の時期を設定します。	
記念日	記念日を設定します。	
誕生日	誕生日を設定します。	

音の設定

警告音のミュート

レーダー警告や無線警告中に警告音をミュート（消音）します。

* 画面表示はおこないます。GPS警告、画像認識警告はミュートできません。

警告動作中に**ミュートボタン**を押します。

■ 各種無線を受信中の場合

ミュート中に約 120 秒間受信がなければ、ミュート機能は自動的に解除されます。

ミュート中に再度受信した場合は、約 120 秒間ミュート機能が延長されます。

■ レーダー警告中の場合

ミュート中、レーダーの受信がなくなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

* ミュートの動作中に**ミュートボタン**を再度押すと、ミュートが解除されます。

アナウンス設定（女性/男性）

アナウンスの音声パターンを女性/男性に切り替えることができます。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「アナウンス設定」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押してアナウンスの種類を切り替える

4 ENTボタンを押して設定を確定する

マナーモード

レーダー受信時/GPS警告時/無線受信時にボイスアシスト（音声）と警告音を出力せず、メロディと画面表示だけで注意を促します。

* 相互通信対応ドライブレコーダー（TZ-D001/CSD-500FHR以外）と未接続の場合、リモコンのマナーボタンから設定が可能です。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押してマナーモードを選ぶ



3 ▼▲ボタンを押してマナーモードの設定を切り替える

4 ENTボタンを押して設定を確定する

✓ アドバイス

マナーモード時は、下記のアナウンスなどもミュートします。

- ・ 時報アナウンス
- ・ 安全運転アナウンス
- ・ 速度アラーム
- ・ 平均速度超過警告
- ・ 日差し注意
- ・ ESインフォメーション

その他の機能

スキップメモリ

各種無線のうち、特定のチャンネルを最大253チャンネル記録し、スキップ（受信拒否）し続けることができます。

* カーロケと350.1MHzはスキップできません。

スキップメモリの設定

スキップしたい無線の受信警告動作中に**モードボタン**を約1秒間押し続けます。

操作結果を音声でお知らせします。

✓ アドバイス

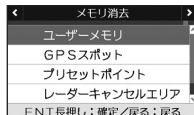
電源を OFF にしても、記録されたスキップメモリは保持されます。

スキップメモリの全消去

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押して「スキップメモリ」を選ぶ

4 「スキップメモリ消去しました」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける

✓ アドバイス

スキップメモリは、一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は、十分に注意しておこなってください。

ワンスキップ

無線の受信警告動作を1回だけスキップ（強制終了）することができます。

無線を受信中に**ENTボタン**を押します。

テロップ表示機能

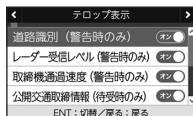
待受画面や警告案内画面に表示する走行速度や時間、おしらせなどのテロップ情報を設定します。

* おしらせ情報の表示には無線LANでのインターネット接続が必要です。（P77参照）

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

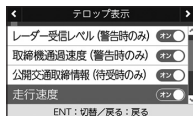
* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「テロップ表示」を選ぶ



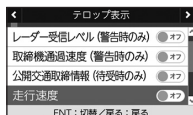
3 ▼▲ボタンを押して設定する項目を選ぶ

4 ENTボタンを押して「オン」「オフ」を切り替える



<例>

走行速度を「オン」に設定した場合



<例>

全てのテロップ情報を「オフ」に設定した場合

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

サブメニュー

地図表示の切り替え

フルマップ画面に表示する地図の種類を2D、3Dなどに切り替えることができます。お好みにあわせてお選びください。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「マップモード」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押して地図の種類を選び、ENTボタンを押す

地図の縮尺の切り替え

地図の縮尺をお好みに合わせて広域から詳細までの5段階で切り替えることができます。

- * 待受画面をフルマップに設定しておく必要があります。
- * 待受画面のフルマップのみ切り替えができます。警告動作中のフルマップは設定した縮尺とは異なり自動でズームします。
- * 警告動作中は、操作できません。

待受状態のときに◀▶ボタンを押し続けて縮尺を切り替えます。縮尺は1段階ごとに切り替わります。



◀ 地図縮小

地図拡大 ▶

広域			詳細
縮尺約1/8万	縮尺約1/2.5万	縮尺約1/1.6万	

ロード自動選択一時切り替え

ロード自動選択の設定が「オン」の場合、任意のタイミングで一時的に「オール/ハイウェイ/シティ」に切り替えることができます。走行している道路の種類が実際と異なる場合、警告などの情報を正確に知ることができます。

走行している道路種を変更したいときに、▲ボタンを長押しします。

▲ボタンを押すたびに、「オール」、「ハイウェイ」、「シティ」の順に切り替わります。

* ロード自動選択の設定が「オフ」の場合は、操作できません。



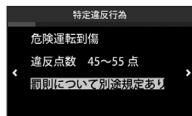
ALL : オール
HI : ハイウェイ
CI : シティ

反則金データベース表示機能

交通違反の際に課せられる反則金や反則点数をディスプレイに表示します。違反内容によっていくらか反則金が課せられるか、または何点反則点数が加算されるかを調べるのに便利です。

1 電源ボタンを約1秒間押し続ける

ディスプレイに反則金データベースが表示されます。



2 ◀▶ボタンを押して表示内容を切り替える

3 通常の画面に戻る場合は、戻るボタンを押す

✓ アドバイス

- ディスプレイに表示される内容は、実際のものと異なる場合があります。
- すべての交通違反は登録されていません。

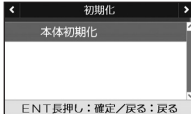
本体の初期化

この操作をおこなうと、各設定や記録内容はすべて消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「初期化」を選ぶ



3 「開始」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける

初期化が終わると「初期化完了」とアナウンスされます。

✓ アドバイス

- 初期化をおこなうと、各設定や記録内容を復旧させることはできません。初期化は、十分に注意しておこなってください。
- 初期化をおこなうと、GPS測位が確立するまでに時間がかかる場合があります（15分程度）、これは製品不良や故障などではありません。

ディマー機能

GPSの時刻情報や測位状況を利用してディスプレイの明るさを自動的に調整します。

* 設定は不要です。

オートトーンダウン機能

レーダー警告がはじまってから約30秒後、またはステルスアラームがはじまってから約10秒後に、警告音量が自動的に小さくなります。

* 設定は不要です。

レシーバーオートミュート機能

同じ無線を連続して受信すると、自動的に警告音やボイスアシストをミュート（消音）します。

- * 350.1MHzはミュートされません。
- * 画面表示はおこないません。
- * 設定は不要です。

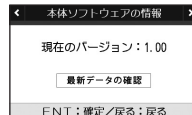
本体ソフトウェアの情報

本機をデザリング等でインターネットに接続し（P75参照）、最新の本体ソフトウェア（ファーム）に更新することができます。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「本体ソフトウェアの情報」を選ぶ



* 表示内容は、実際の製品とは異なります。

3 ENTボタンを押して「最新データの確認」をする

4 インターネットに接続し、最新の本体ソフトウェアを確認する

最新データがあった場合、自動的にダウンロードし、更新を開始します。更新が完了すると本機は再起動します。

✓ アドバイス

- 本体ソフトウェア更新をおこなう際は、本体の電源がOFFにならないようご注意ください。また、更新中はエンジンの停止やmicroSDカードの取り外しはおこなわないでください。

外部入力（モニター、ドライブレコーダー）を利用した機能

外部入力について

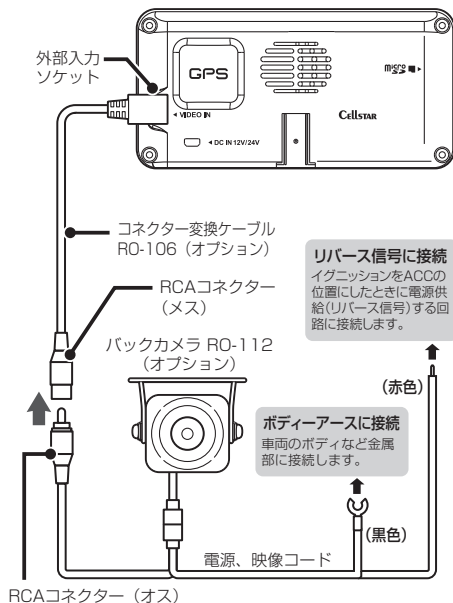
オプションのフロントカメラ（RO-113/RO-114）やコネクター変換ケーブル（RO-106）に接続したバックカメラ（RO-112）、当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーなど外部機器の映像をディスプレイに表示させることができます。

* 外部入力を使用する際は、接続する外部機器の取扱説明書も併せてお読みください。

外部入力機器の接続方法

接続する際は、外部機器に付属の取扱説明書をよくお読みの上、機器を取り付けてください。

例）バックカメラの取り付け



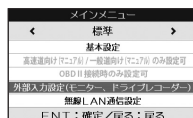
注意

- オプションのコネクター変換ケーブル（RO-106）を改造し、使用するとレーダーデテクターや外部接続機器の故障の原因となります。
- 外部接続機器のビデオ信号に関するお問い合わせは、承りません。
- オプションのフロントカメラ（RO-113/RO-114）、ドライブレコーダー接続ケーブルは、24V車には取り付けられません。

カメラの取り付け推奨位置について

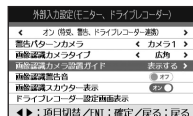
オプションのフロントカメラ（RO-113/RO-114）や当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーを本機に接続する際は、「画像認識カメラ設置ガイド」を使用し、正しい位置にお取り付けください。間違った取り付けをおこなうとスカウター表示（画像認識）などの機能が正しく動作しません。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）」を選びENTボタンを押す



* 外部入力の設定をあらかじめ「オン（待受/警告/ドライブレコーダー連携）」にしておく必要があります。

2 ▼▲ボタンを押して「画像認識カメラ設置ガイド」を選び、▶ボタンを押す



* 接続しているカメラに合わせ、「画像認識カメラタイプ」も設定しておいてください。

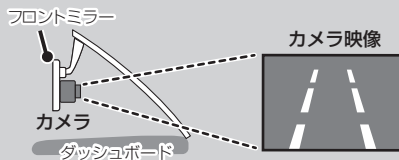
3 ガイドに合わせてカメラを設置する



* 設置する際は、あらかじめ待受画面の表示項目「傾斜角」を参考に水平な道路でおこなってください。（P23参照）

✓ アドバイス

- フロントカメラやドライブレコーダーを設置する際は、センサー付近でカメラの視界を遮るものがなく、上方で道路がよく見渡せるミラー裏などに取り付けることをお勧めします。
- また、道路の道端がカメラ映像の中央で左右対称になるように取り付けることをお勧めします。



外部入力（モニター、ドライブレコーダー）の設定

接続した外部機器映像の表示方法を設定します。

1 戻るボタンを押して外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）画面に切り替える



2 ◀▶ボタンを押して設定内容を選び、ENTボタンを押す

・オン（待受/警告/ドライブレコーダー連携）

警告パターンの「カメラ」を選んだ際、オプションのフロントカメラや当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーの映像をライブビューで表示します。（工場出荷時の初期設定）

・オン（モニター）

外部機器の映像を全画面で表示します。外部機器の映像信号を検出するとすべての警告動作はオフになります。映像信号が途切れると自動的に待受画面に戻ります。

* モニター中は、リモコン操作ができません。終了するには、**戻るボタン**を押してください。

・オフ

外部機器の映像を表示しません。

カメラの映像を使った警告案内について

オプションのフロントカメラ（RO-113/RO-114）や当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーの映像を利用した警告パターンカメラを設定できます。

* 外部入力の設定をあらかじめ「オン（待受/警告/ドライブレコーダー連携）」にしておく必要があります。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「警告パターン」を選ぶ

3 ▼▲ボタンを押して「カメラ」を選び、ENTボタンを押す

カメラ映像の表示パターンなどはメインメニューの「外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）」で変更します。

1 戻るボタンを押して外部入力設定（モニター、ドライブレコーダー）画面に切り替える

2 ▼▲ボタンを押して「警告パターンカメラ」を選ぶ

カメラ1：カメラ映像と地図の2画面で警告



カメラ2：カメラ映像を全画面で警告



設置された取締機の位置は、下記のように映像画面の一部を赤く点滅させてお知らせします。

左側の場合



上側の場合



右側の場合



ドライブレコーダー連携について

本機と当社製相互通信対応ドライブレコーダーを当社製レターデテクター相互通信コードで接続することにより、設定画面やカメラ映像及び再生映像を本機の画面に表示させることができ、本機のリモコンから操作できるようになります。また、GPSの位置情報や電源、OBD IIの速度データも本機より供給され、操作音も本機から出力されます。

* 詳しくは、接続する相互通信対応ドライブレコーダーの取扱説明書をお読みください。



・TZ-D001/CSD-500FHRは本機からクイック録画の操作とOBD IIの速度データの供給はできません。

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

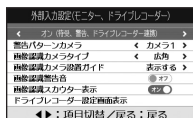
アフターサービス

スカウター表示（画像認識）について

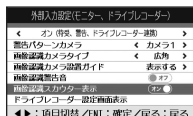
オプションのフロントカメラ（RO-113/RO-114）や当社製外部映像出力対応ドライブレコーダーの映像から画像認識によりスカウター表示することができます。

- * 外部入力の設定をあらかじめ「オン（待受/警告/ドライブレコーダー連携）」、待受画面を「カメラ」に設定しておく必要があります。

1 戻るボタンを押して外部入力（モニター、ドライブレコーダー）設定画面に切り替える

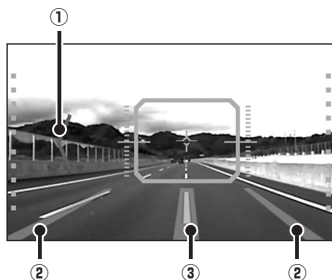


2 ▼▲ボタンを押して「画像認識スカウター表示」を選び、ENTボタンを押し「オン」にする。



<例>
設定内容から「画像認識スカウター表示」を選んだ場合

スカウター表示



- ① 走行車線の白線をまたいだと判断した際、警告として左または右に表示します。
- ② 走行車線の白線を認識します。
- ③ 自車のセンター位置を表示します。

✓ アドバイス

- ・「画像認識カメラ設置ガイド」を使用し、カメラを正しい位置に設置してください。（P68参照）
- ・スカウター表示は、ロード自動選択を「オン」にし、高速道（ハイウェイモード）で走行速度30km/h以上にて作動します。
- ・夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって画像認識が困難となる場合があります。
- ・画像認識の表示は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- ・画像認識による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。

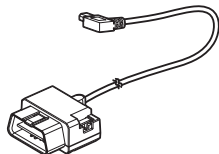
OBD II を利用した機能

OBD II について

オプションのOBD II アダプター (RO-116/RO-115)を使用して本機を接続することで、ダミーセキュリティ機能や車両の簡易故障診断、OBD II から得られる車両情報などを待受画面に表示することができます。また、GPSを受信できないトンネル内などの場所でもOBD IIからの車速情報をもとに、速度表示や正確な警告案内をおこなうことができます。

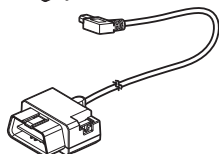
RO-116

トヨタHV対応
OBD II アダプター



RO-115

OBD II アダプター



OBD IIとは?

On-Board Diagnostics II の略で、車両に搭載されたコンピュータがおこなう自己故障診断システムのことを言います。車両のコネクターに接続することで車両故障診断情報の他、車速、エンジン回転数などの情報も取得することができます。

✓ アドバイス

オプションの OBD II アダプターをご購入前に、当社ホームページ (<http://www.cellstar.co.jp>) より OBD II 適合表を確認してください。OBD II 適合表にない車両には取り付けできません。また、車両により接続できる OBD II アダプターの種類が異なります。

⚠ 注意

- 本機にセルスター製以外のOBD II アダプターを取り付けしないでください。故障の原因となります。
- OBD II アダプターを接続しても車両メーカーごとに取得可能な情報が異なるため、表示または設定できない項目があります。あらかじめご了承ください。
- 一部のOEM車両などでは、車両メーカーと車両設定が合わない場合があります。
- OBD II アダプターを接続してエンジンをON/OFFにしても本機の電源ON/OFFにタイムラグが発生することがあります。

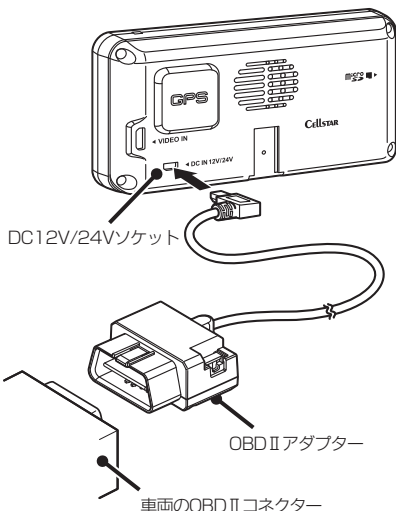
OBD II の接続方法

車両のOBD II コネクターを探して、オプションのOBD II アダプターを接続してください。

- エンジンがOFFの状態でも接続しても本機の電源がONになりません。

✓ アドバイス

- 車両によってカバーが付いている場合やコンソール内に設置されている場合があります。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。
- 接続後、必ず「車両メーカー」の設定 (P72参照) をおこなってください。正しい設定がされていない場合、数分で本機の電源がOFFになります。



⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。
- 長期間車両を使用しない場合は、車両からOBD II アダプターを取り外してください。

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

車両メーカーの設定

オプションのOBD II アダプターを接続後、下記の設定をおこなうことで、OBD II から車両情報を取得することができます。

52ページのOBD II 燃料単価、OBD II 満タン燃費補正、OBD II 簡易故障診断、OBD II 待受画面などを設定する際はあらかじめ本設定をおこなってください。

✓ アドバイス

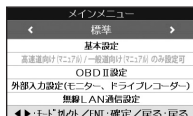
- 必ず当社ホームページ (<http://www.cellstar.co.jp>) よりOBD II 適合表を確認して、ご利用の車両に合った設定にしてください。
- 車両設定が正しくない場合や車両情報が取得できない場合は、数分で本機の電源がOFFになります。OBD II を接続しなおして、正しい設定をおこなってください。

⚠ 注意

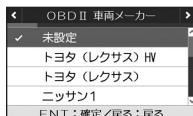
- OBD II アダプターを接続しても車両メーカーごとに取得可能な情報が異なるため、表示または設定できない項目があります。あらかじめご了承ください。
- 一部のOEM車両などでは、車両メーカーと車両設定が合わない場合があります。
- 車両メーカーの設定は、必ずエンジンをかけた状態でおこなってください。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「OBD II 設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。



2 ◀▶ボタンを押して「OBD II 車両メーカー」を選び



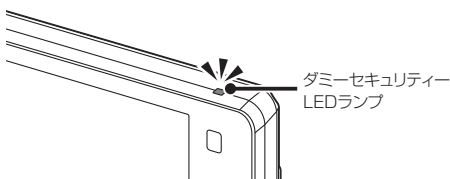
3 ▼▲ボタンを押して対応する車両メーカーを選び、ENTボタンを押す



＜例＞
設定内容から「マツダ」を選んだ場合

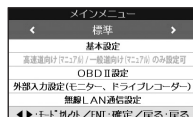
ダミーセキュリティ機能

OBD II アダプター接続時、ダミーセキュリティLEDランプを点滅させ、停車中の愛車にいたずらしようとする人を威嚇します。



1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「OBD II 設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。



2 ◀▶ボタンを押して「OBD II ダミーセキュリティ」を選ぶ



- ・オン1 2秒ごとに1回点滅する設定します。
- ・オン2 2秒ごとに2回点滅する設定します。
- ・オフ ダミーセキュリティを設定しません。

3 ▼▲ボタンを押して「オン1」または「オン2」を選び、ENTボタンを押す

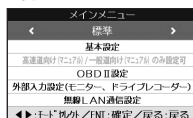
簡易故障診断の設定/実行

電源をONまたは「開始」を選択したときにOBDD II の車両故障診断情報取得し、エンジン系統の故障の有無を表示します。

* OBDD II 設定の「OBDD II 車両メーカー」をあらかじめ設定しておく必要があります。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「OBDD II 設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。



2 ◀▶ボタンを押して「OBDD II 簡易故障診断」を選ぶ



・オン

故障を検出すると、自動的に待受画面に割り込み通知をおこないます。以降 10 分ごとに 10 秒間、割り込み通知をおこないます。(警告音あり)

・オフ

割り込み通知をおこないません。

・開始

簡易故障診断をおこないます。(警告音なし)

3 ▼▲ボタンを押して「オン」または「開始」を選び、ENTボタンを押す

✓ アドバイス

- 故障診断の割り込み通知表示を消すときは、**戻るボタン**を押します。
- 戻るボタン**で割り込み通知表示を消した場合は、「OBDD II メモリリセット」をおこなわない限り、以降は割り込み通知表示をおこないません。
- 故障ありの表示が出たら、カーディーラーなどで車両故障の原因を特定し、修理をおこなってください。その際、ECUの故障履歴を消去しないと、再度故障ありの表示が出ます。

OBDD II 満タン燃費補正

より正確な燃費を算出するために、走行距離と給油量を本機に入力します。数回実行することで、本機内部の燃費算出係数の調整を自動でおこないます。

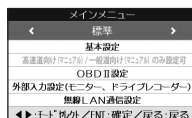
* OBDD II 設定の「OBDD II 車両メーカー」をあらかじめ設定しておく必要があります。

燃料補正の方法

1 車両の燃料を満タンに給油し、トリップ・メーターをクリア (0 km) にする

2 走行を開始する前に、ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「OBDD II 設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。



3 ◀▶ボタンを押して「OBDD II 満タン燃費補正」を選ぶ



4 ▼ボタンを押して「満タン給油時に開始」を選び、ENTボタンを押す

5 100km以上走行した時点で、燃料をふたび満タンに給油する

6 走行を開始する前に、手順2から3までを参照し「OBDD II 満タン燃費補正」を選ぶ



はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

7 車両のトリップ・メーターの走行距離を入力して**ENT**ボタンを押す

数値の桁移動は**◀▶**ボタンで、数値の入力は**▼▲**ボタンでおこないます。

OBD II 満タン燃費補正		
燃費補正中……		
次回、満タン給油時に 0.0 を入力後、完了を押す		
① 走行距離	② 給油量	③ 補正完了
240 km	0.0 L	完了
▲▼▶◀：設定/ENT；確定/戻る：戻る		

8 満タンに補給した給油量を入力して**ENT**ボタンを押す

数値の桁移動は**◀▶**ボタンで、数値の入力は**▼▲**ボタンでおこないます。

OBD II 満タン燃費補正		
燃費補正中……		
次回、満タン給油時に 0.0 を入力後、完了を押す		
① 走行距離	② 給油量	③ 補正完了
240 km	15.8 L	完了
▲▼▶◀：設定/ENT；確定/戻る：戻る		

9 「完了」を選び、**ENT**ボタンを押す

OBD II 満タン燃費補正		
燃費補正中……		
次回、満タン給油時に 0.0 を入力後、完了を押す		
① 走行距離	② 給油量	③ 補正完了
240 km	15.8 L	完了
ENT；確定/戻る：戻る		

✓ アドバイス

- 正しい走行距離、給油量を入力できなくなった場合は、**ENT**ボタンを長押しすることで、補正をキャンセルすることができます。
- 入力した値を修正したい場合は、**戻る**ボタンを押してから初めから入力しなおしてください。

無線LANを使ったデータ転送と更新

無線LANデータ転送と更新について

本機では内蔵の無線LANを使って、スマートフォンアプリ（Android/iOS）を使ったデータ転送、家庭内無線LANなどのアクセスポイントを設定して自動でデータを確認/ダウンロードする2通りの方法で以下のデータ更新がおこなえます。

- ・GPSデータ
- ・高速道ガソリンスタンド価格案内
- ・公開交通取締情報

スマートフォンアプリを使ったデータ転送では、上記の項目以外にも以下のデータを送受信することができます。

- ・スマート警告用画像
- ・デジタルフォトフレーム
- ・おもしろカスタマイズ
- ・GPSスポット
- ・走行ログ表示
- ・コンテンツダウンロード

✓ アドバイス

スマートフォンアプリを使ったデータ転送の場合、無線LAN（Wi-Fi）のインフラストラクチャーモードで接続します。ネットワーク接続の確立中は、3G/LTEまたは無線LAN（Wi-Fi）などで各種更新用データをダウンロードすることはできません。スマートフォンから本機との無線LAN（Wi-Fi）接続を解除し各種更新用データをダウンロードしてください。

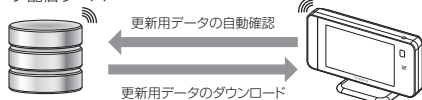
家庭内無線LANなどのアクセスポイントからの自動更新イメージ

家庭内無線LANまたはテザリング対応のスマートフォンやモバイルルーターのアクセスポイントを事前に登録しておく、本機からセルスターのサーバへ自動でアクセスし、更新用データがあった場合は、直接本機にダウンロードすることができます。（P77参照）

ASSURA+Link運動機能（P79参照）を利用する場合、テザリング接続が必要です。

セルスターの更新用
データ配信サーバ

本機



スマートフォン
(アクセスポイント)

家庭内無線LAN
(アクセスポイント)



* アクセスポイントは3箇所まで登録することができます。

スマートフォンアプリを使った各種更新用データの転送イメージ

スマートフォンをインターネットに接続して、セルスターのサーバから更新用データをダウンロードした後、本機に転送します。

- * データのダウンロードと転送には、スマートフォンアプリ「MyCellstar+Sync」が必要です。



- * インフラストラクチャーモードで接続しています。

スマートフォンアプリを使ったデータ転送と更新

- 1 スマートフォンを3G/LTEまたは無線LAN（Wi-Fi）に接続し、事前にスマートフォンアプリ「MyCellstar+Sync」で各種更新用データをダウンロードします。

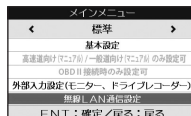
- * 「MyCellstar+Sync」のインストール方法や各種データのダウンロード方法は、下記URLをご覧ください。
<http://www.mycellstar.jp>

⚠ 注意

本機に microSD カードが挿入されていることを確認してください。microSD カードが挿入されていないと本機にデータを転送することができません。（P14 参照）

- 2 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「無線LAN通信設定」を選びENTボタンを押す

- * 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。



はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと
使いこなす

困ったときは

アフター
サービス

3 ▼▲ボタンを押して「スマートフォンアプリ MyCellstar + Syncでデータを送受信する」を選び、ENTボタンを押す



* ASSURAの横の文字列は、製品によって異なります。このSSIDは、スマートフォンからネットワークを追加する際に確認します。

4 スマートフォンの無線LAN(Wi-Fi)をオンにし、ネットワークの一覧から「ASSURA-***…」SSIDを検索し、接続する

インフラストラクチャーモードで接続します。

* セキュリティの設定はありません。



スマートフォン

本体(アクセスポイント)



* 接続が確立されると左の画面を表示します。

5 スマートフォンアプリ「MyCellstar + Sync」で転送または更新するデータ項目を選び「無線LANでASSURAに転送」をタップする

* スマートフォンから本機にデータが転送されている間は、スマートフォンと本機の電源がOFFにならないようにしてください。

* iPhone版は、microSDカードへの転送はありません。

* スマートフォンアプリ「MyCellstar+Sync」の使い方は、アプリ内のヘルプをご覧ください。

* データの転送状況はスマートフォンで確認してください。



* スマートフォンから本機のmicroSDカード内にデータが転送されると「通信中」となります。

6 データ転送が完了したら、戻るボタンを長押しして、無線LAN (Wi-Fi) をオフにする

ネットワーク接続が解除されます。

✓ アドバイス

ネットワーク接続は、本機の電源を入れなおすと強制的に解除されます。

7 必要に応じて本機の電源を入れなおす

* GPSデータの更新は、電源を入れなおすと自動的に更新が始まります。

* GPSスポットは「GPSスポットインポート」を実行する必要があります。

✓ アドバイス

・一度本機とスマートフォンのネットワーク接続の設定をおこなえば次回からは、スマートフォンの無線LAN (Wi-Fi) がオンになっている状態で「スマートフォンアプリ MyCellstar + Syncでデータを送受信する」を選択するだけで自動的にネットワーク接続されます。

* スマートフォンの設定によっては、自動的に接続しません。

* 家庭内無線LAN (Wi-Fi) 環境などでは、本機とスマートフォン接続 (インフラストラクチャーモード) は優先接続されません。手動で切り替えるか、家庭内無線LAN (Wi-Fi) 圏外での接続をおこなってください。

・ネットワーク接続を再設定した場合、本機のDHCPから自動的にIPアドレスを割り当てられないため、接続が確立できない場合があります。本機の電源を入れなおすことでDHCPがリセットされ正しいIPアドレスが割り当てられます。

・本機のMACアドレスはSSIDのASSURAの横の文字列です。

家庭内無線LANなどのアクセスポイント接続による自動更新

家庭内無線LANやスマートフォン（テザリング）、モバイルルーターのアクセスポイントに接続する際は、無線LANやスマートフォンなどに付属の取扱説明書を併せてお読みください。

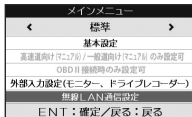
* アクセスポイントは3箇所で登録することができます。

注意

本機に microSD カードが挿入されていることを確認してください。microSD カードが挿入されていないと本機にデータをダウンロードすることができません。（P14 参照）

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「無線LAN通信設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。



2 ▼▲ボタンを押して「家庭内無線LANやスマートフォン（テザリング）のアクセスポイントに接続する」を選び、ENTボタンを押す



無線LAN設定画面が表示されます。



* 受信エリア内のアクセスポイントを一覧で表示します。

* 接続先のアクセスポイントが見つからない場合は、「スキャン」を押して再度アクセスポイントを検索してください。

3 ▼▲ボタンを押して接続するアクセスポイントを選び、ENTボタンを押す パスワード入力画面が表示されます。



* セキュリティなしのアクセスポイントではパスワード入力画面は表示されません。

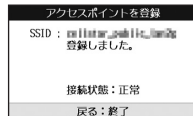
4 リモコンのボタンを使って、アクセスポイントのパスワードを入力する

◀▶▼▲ボタンで文字種や文字を選び、ENTボタンで決定します。

全てのパスワードが入力し終わったら「入力終了」を選び、ENTボタンを押します。



アクセスポイントの登録が完了すると次の画面が表示されます。

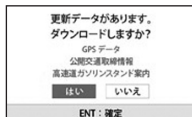


5 登録したら、戻るボタンを押して、待受画面に戻る

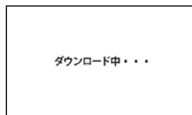
アクセスポイント接続時、自動的に更新用データの確認がおこなわれ、更新用データを検出した際は、ダウンロード確認画面を表示します。



6 更新データのダウンロードをおこなう場合は、◀▶ボタンを押して「はい」を選び、ENTボタンを押す



ダウンロードが開始されます。



ダウンロード完了後、本体の再起動がおこなわれます。

- * GPSデータの更新は、再起動後自動的におこなわれます。

✓ アドバイス

- 無線LAN設定（アクセスポイントの登録）は、一度設定しておけば再度設定する必要はありません。
- スマートフォン（テザリング）のアクセスポイントに接続する場合、スマートフォンのテザリングを省電力設定している場合「無線LAN通信間隔」で設定したタイミングによっては、通信が途絶えることがあります。
- iOS7以前では、仕様によりロック画面になるとテザリングがオフになります。iPhoneの設定を調整してください。
- スマートフォンのテザリングについては各通信会社にお問い合わせください。

無線LAN通信間隔の設定

登録した家庭内無線LAN（Wi-Fi）やスマートフォン（テザリング）のアクセスポイントに接続し、GPSデータや公開交通取締情報、高速道路ガソリンスタンド価格案内の更新データなどをASSURA+Linkに自動チェックする通信間隔を設定します。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

- * 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「無線LAN通信間隔」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押して設定内容を選び、ENTボタンを押す



<例>
設定内容から「10分」を選んだ場合

✓ アドバイス

配信サーバに各種データを確認するタイミングは、起動後初めてネットワークの接続が確立時と「無線LAN通信間隔」で設定した時間です。一度更新をキャンセルした場合、本体の電源を「OFF」にしないと再度確認は起こりません。

ASSURA+Link連動機能

無線LAN接続時、クラウド型コミュニティサイト「ASSURA+Link」との連動機能として、ASSURA+Linkに投稿されたポイント情報を待受画面「フルマップ」にリアルタイムでアイコン表示することができます。また、セルスターが配信するおしらせ情報をクラウドサーバから自動でダウンロードしてテロップ表示することもできます。

ASSURA+Link とは？

ASSURA+Link では、速度取締機や取締り情報、ガソリンスタンド（価格）などの運転に役立つポイント情報をコミュニティサイト（web）から投稿し、会員様同士で共有することができます。投稿されたポイント情報は会員様同士の評価により、情報の信頼度を判断しフィルタリングすることもできます。

詳しくは、ASSURA+Link WEBサイトをご覧ください。

<http://assura-link.jp>

✓ アドバイス

ASSURA+Link との連動機能を使用する際は、スマートフォン（テザリング）またはモバイルルーターをアクセスポイントに設定してください。（P76 参照）

おしらせ機能のテロップ表示

無線LAN接続時、セルスターが配信するおしらせ情報をクラウドサーバから自動でダウンロードして待受画面にテロップ表示します。

* テロップ表示のおしらせを「オン」に設定しておく必要があります。



ASSURA+Linkに投稿されたポイントをアイコン表示する

ASSURA+Linkに投稿されたオービスやループコイル、公衆トイレ、ガソリンスタンドなどのポイントを待受画面「フルマップ」にアイコン表示します。また、投稿されたポイントの信頼度によってフィルタリングをおこないアイコン表示の有無を設定することができます。

* 投稿されたポイントの信頼度は、会員様同士での評価（Good、Badの合計値）によって算出されます。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「ASSURA+Link アイコン信頼度」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押して表示するアイコンの信頼度を選び、ENTボタンを押す

- ・高：信頼度5以上のみをアイコン表示します。
- ・中：信頼度0以上のみをアイコン表示します。
- ・低：信頼度-5以上のみをアイコン表示します。
- ・機能オフ：本機能を利用しません。

* 「機能オフ」を選んだ場合は、ASSURA+Linkとの通信動作をおこないません。

* ASSURA+Linkから情報を取得する際、GPSから得た現在地をASSURA+Linkサーバに送りますが、個人情報情報の二次利用はおこないません。

「高、中、低」を選ぶと、信頼度に応じてフィルタリングされアイコンが待受画面「フルマップ」に表示されます。



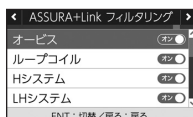
アイコン表示するポイントの種類をフィルタリングする

ASSURA+Linkに投稿されたポイント情報を待受画面「フルマップ」にアイコン表示する際、投稿されたポイントの種類によってフィルタリングをおこない個別にアイコン表示の有無を設定します。

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「基本設定」を選びENTボタンを押す

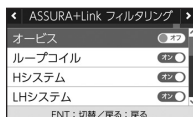
* 詳細の手順に関しては、38ページの手順1から3をご覧ください。

2 ◀▶ボタンを押して「ASSURA+Link フィルタリング」を選ぶ



3 ▼▲ボタンを押して設定する項目を選ぶ

4 ENTボタンを押して「オン」「オフ」を切り替える



<例>
オービスを「オフ」に設定した場合

- ・**オン**：表示します。
- ・**オフ**：表示しません。

ASSURA+Link連動アイコン一覧

種類	アイコン	名称
		オービス
		ループコイル
		Hシステム
速度取締機 (赤色)		LHシステム
		NHシステム
		信号無視監視機
		取締ポイント
取締り (黄色)		Nシステム
		休憩スポット
		公衆トイレ
情報 (青色)		ガソリンスタンド
		* レギュラー価格情報がある場合は、アイコン下部に表示します。
		EV 充電スポット

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

また当社ホームページ「お客様サポート」も併せてご覧ください。(http://www.cellstar.co.jp)

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	・DC12V/24Vが入力されていますか。 ・本体とDCコードが外れていませんか。 ・シガーライター用スイッチ付DCコードのヒューズが切れていませんか。	P12
(数分で)電源が切れる	・OBDⅡの「OBDⅡ 車両メーカー」が正しく設定されていない可能性があります。設定が正しくないと本機の電源がOFFになります。	P72
機能設定が変更できない	・「高速道向け（マニュアル）」または「一般道向け（マニュアル）」に設定されていますか。	P16、P40
GPS 信号を受信しない	・GPS信号は受信可能ですか。	P10 - P11 P56
速度取締機の警告をしない	・GPS信号は受信可能ですか。 ・GPS警告ポイント消去機能が設定されていませんか。	P10 - P11 P56
	・登録されていない速度取締機の可能性があります。	—
	・取締機の設定が「ハイウェイ」または「シティ」になっていませんか。	P40
GPS 警告をしない	・設定が「オフ」になっていませんか。	P40 - P43
	・登録されていないポイント（エリア）の可能性があります。	—
	・ロード自動選択機能が「オン」になっていませんか。	P46
制限速度切替りポイントの GPS 警告をしない	・制限速度切替りポイントの設定が「標準」で制限速度の上がる地点で警告しない設定になっていませんか。	P40
何も無いのにレーダー警告音が鳴る	・速度取締機と同じ電波は他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告を出す場合があります。これは故障ではありません。あらかじめご了承ください。 < 同じ電波を使用している機器例 > ・自動ドアの一部 ・車両通過計測器 ・NTT の通信回線の一部 ・気象用、航空機用などのレーダーの一部 < 対処 > - レーダーキャンセルエリア	P58
ユーザーメモリをお知らせしない	・ポイントは記録されました。 ・反対方向などから走行していませんか。	P57
L.S.C. 機能が働かない	・L.S.C. 機能は「オフ」になっていませんか。	P40
ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点がある	・ディスプレイ特有の現象であり、故障ではありません。	—
ディスプレイに表示跡や色むらがある	・ディスプレイの特性によるものです。不良や故障ではありません。	—
無線を受信しない	・各種無線の設定が「オフ」になっていませんか。 ・無線は常に発信されているわけではありません。	P42

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

症状	考えられる原因	参照
カーロケーターを受信しない	- カーロケの設定が「オフ」になっていませんか。 - カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性があります。 - カーロケーターシステムが導入されていない地域の可能性があります。	P42
350.1MHzの音声がかえらない	350.1MHzの設定が「オフ」になっていませんか。 - デジタル通信の場合、音声を聞くことはできません。 350.1MHzの受信電波が弱いと、音声がかえらない場合があります。	P42
レッカー無線を受信しない	- レッカー無線の設定が「オフ」になっていませんか。 - 本機搭載のレッカー無線チャンネルは、主に東京都、兵庫県、愛知県内の一部地域で使用されているものです。レッカー無線を搭載していない車両の可能性があります。 - 走行速度が約50km/h以上で走行していませんか。	P42
レッカー無線以外の業務無線を受信する	レッカー無線は簡易業務無線のため、その他業種の無線も受信します。	—
各種無線を受信したままになる	- 車からの影響や、周囲の状況により受信したままになる場合があります。 <対処> - ワンスキップ - スキップメモリ	P65
スマート警告が表示しない	- microSDカードにスマート警告用画像が記録されていない、またはmicroSDカードが挿入されていますか。 - 最新のGPSデータならびにスマート警告用画像はスマートフォン専用アプリ「MyCellstar+Sync」またはパソコン版「MyCellstar」から無料でダウンロードできます。	P14 P75、P84
フルマップを正しく表示しない	GPS信号は受信可能ですか。	P10 - P11 P56
	microSDカードスロットに付属のmicroSDカードが挿入されていますか。	P14
音声が出力されない	microSDカードスロットに付属のmicroSDカードが挿入されていますか。	P14
OBD IIの車両のスピードメーターと一致しない	一般に車両のスピードメーターは、実際の速度より高めに表示されています。表示速度補正機能を設定することである程度調整することができます。	P50
OBD II接続時の待受画面で表示されない項目がある	車両によって表示できる項目が異なります。OBD II 適合表をご確認ください。	P71
OBD II接続時、スロットル開度がアイドリング中でも0%にならない	車両によってスロットル開度がアイドリング状態でも0%表示しない場合があります。	—
自動的にいろいろな警告や案内を繰り返す	ディスプレイモードになっています。お客様相談窓口にご連絡ください。	裏表紙

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P85参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定に従って無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票（P85参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

修理受付票は、以下の方法でも入手できます。

郵送をご希望のお客様

カスタマーサービスまでお問い合わせください。
フリーダイヤル：0120-75-6867
（携帯電話・PHSからは、046-275-6867）

FAX をご希望のお客様

FAXサービスまでお問い合わせください。
FAX：046-275-1171（音声ガイダンス）データ番号051で24時間FAXにてお取り出しできます。

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）

http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

1 故障かな？と思ったら（P81～P82参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。

2 当社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

3 当社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P85参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、当社カスタマーサービスにご連絡ください。



フリーダイヤル

0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9：00～17：30

（土・日・祝日および、当社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：046-275-6867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるスムーズにご相談いただけます。

2

修理品の送付先

セルスター工業 アフターサービス

〒518-1145

三重県伊賀市安場字東赤坂 1608-5

TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、当社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 当社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

GPSデータの更新について

本機は速度取締機、取締りポイントなどの位置データを使用して製造をおこなっています。その後、速度取締機などの新設や変更などがあった場合、その内容を反映させた更新用データを毎月作成しております。

また、更新用データの作成につきましては、製品の仕様や更新用データの都合などにより、更新用データの作成を終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■ データ更新は選べる3プラン

【入会金・年会費不要】

ダウンロードお家で更新プラン

パソコンやスマートフォンでGPSデータをダウンロード、microSDカードを使って更新します。

何回でもダウンロード可

無料

ダウンロードサイトの説明、注意事項をよく読み、手順に従ってGPSデータを更新してください。microSDカードにダウンロードしたデータを書き出す際は、市販のカードリーダー/ライターなどをご利用ください。

microSD カード購入ラクラク更新プラン

更新用データ入りカードを当社お客様相談窓口または販売店で購入します。

1 枚

有料

- * 価格は、当社ホームページをご覧ください。お客様相談窓口、または販売店までお問い合わせください。

送って更新プラン

製品を当社に送っていただき当社で更新を実施します。

1 回

有料

お買い求めになった販売店、当社お客様相談窓口までご依頼ください。また、データ更新作業の際に工場出荷状態に戻ってしまう場合があります。あらかじめご了承ください。

- * 価格は、当社ホームページをご覧ください。お客様相談窓口、または販売店までお問い合わせください。
- * プランによっては、別途送料が必要です。
- * お客様のmicroSDカード（記憶媒体）へのデータ書き込みサービスは一切おこなっておりません。
- * microSDカード購入ラクラク更新プランで購入したmicroSDカードでは、フルマップ表示はできません。

フルマップデータの更新について

地図データ更新プランで購入した最新フルマップ内蔵microSDカードを付属のmicroSDと交換するだけで簡単に最新のフルマップデータに更新できます。最新フルマップデータは株式会社ゼンリンにより毎年更新、提供されます。

地図データ更新プラン

最新フルマップ内蔵microSDカードを当社お客様相談窓口または販売店へご依頼ください。

1 枚

有料

別途、送料が必要です。

- * 価格は、当社ホームページをご覧ください。お客様相談窓口、または販売店までお問い合わせください。
- * 2015年1月現在の内容です。予告なく変更する場合があります。
- * 地図データ更新プランにより、購入したmicroSDカードには、プロテクト処理が施されています。付属のmicroSDカードと交換して使用してください。
- * フルマップデータの著作権は、株式会社ゼンリンが所有しています。無断複製など著作権を侵害する行為は法律より一切禁止されています。(C) 2015 ZENRIN CO.,LTD.
- * 本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

MyCellstarについて

「MyCellstar」は、GPSデータなど「各種データダウンロード」、警告や案内画面や音声をカスタマイズする「おもしろカスタマイズ」、お好みの画像をスライドショー表示する「デジタルフォトフレーム」、地図から自分だけのGPSスポットを追加する「GPSスポット追加」ができます。作成したデータは、簡単にASSURAと同期できます。

詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

■ パソコンの推奨環境

- ・ OS : Windows (7/8以降)
Macintosh (MacOS X 10.5以上)
- ・ CPU : Intel Core2 Duo相当性能
- ・ メモリ : 1GB以上
- ・ グラフィックメモリ : 256MB以上
- * 一部の機能は、ユーザー登録が必要になります。

■ スマートフォンの推奨環境

- ・ OS : Android 4.0 / iOS 8.1以降
- ・ 機器 : 上記URLをご覧ください。

修理受付票

製品名：TZ-R001A

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：		ご住所：□□□□-□□□□□□	
ご自宅電話番号：			
FAX番号：			
日中ご連絡可能な電話番号：□□□□□□□□□□ □ 携帯電話 □ ご勤務先 □ その他（ ）			
ご購入日：	お見積り連絡：□ 不要 / □ 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡 ※不要を選択の場合、お見積りの連絡はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。		
同梱した付属品：合計（ ）点	具体的な症状：□ 常に発生する □ 時々発生する □ 特定の条件で発生する できるだけ詳しくご記入ください。		
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。			
お客様名：		ご住所：	
ご自宅電話番号：			

各種規定について

重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の「GPS レーダーディテクター TZ-R001A」（「機器」）にて用いられる地図データおよび検索情報などのデータ（「本データ」）の使用許諾条件を定めたものです。

本データをご利用の前に必ずお読みください。本データをご利用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、お客様自身が管理使用する機器 1 台に限り、以下の権利を許諾します。

- (1) 本書に記載された内容の使用をすること。
- (2) SD カードに格納された本データを機器本体において使用すること。

2. お客様は、本データのご利用前には必ず本書を読み、その記載内容に従って使用するものとします。

3. お客様は以下の事項を承諾するものとします。

- (1) 本データの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
- (2) 本データを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本データの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
- (3) 弊社は、本データに関する損害賠償責任を一切負わないこと。なお、この規定は本データに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
- (4) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。

- (1) 本データの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
- (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本データ（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物・出力物・抽出物その他利用物を含む）の全部または一部を使用させること。
- (3) 本データをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
- (4) その他本データについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

■ 日本地図ならびに地図情報データについて



本サービスは株式会社ゼンリンの地図データを使用しています。「ゼンリン」は株式会社ゼンリンの登録商標です。

©2015 ZENRIN CO.,LTD. All rights reserved.

■ 1/25,000地形図データベース

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図、2万5千分の1地形図及び電子地形図25000を使用した。（承認番号 平26情使、第244-B222号）

■ 行政界・海岸線データベース

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用した。（承認番号 平26情使、第245-B16号）

フォントに関して

本製品の組込み用フォントは、株式会社リコーによる提供を受けており、この組込み用フォント「RT FONT」の著作権は、同社に帰属します。

「RT FONT」は読みやすさを追求したNEWゴシック体で滑らかな描写と線幅を保持し、高い文字表示品位を実現しています。

仕様・定格

■ 本体

- ・GPS受信部
 - 受信方式 : 34ch パラレル受信
 - 受信周波数 : 1575.42MHz、1598.0625MHz ~ 1605.375MHz
- ・レーダー受信部
 - 受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式
 - 受信周波数 : Xバンド、Kバンド
- ・レシーバー部
 - 受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式
 - 受信周波数 : UHF330 ~ 470MHz、VHF154 ~ 162MHz
- ・無線LAN
 - 周波数 : 2.4GHz帯
 - 通信規格 : IEEE802.11b/g/n
 - 送信出力 : 11b最大 15dBm、11g最大 13dBm、11n最大 12dBm
 - * 1送信出力電力は、アンテナ給電点での性能値となります。
- ・センサー : 加速度センサー、ジャイロセンサー、気圧センサー
- ・電源電圧 : DC12V/24V
- ・動作温度範囲 : -10℃ ~ +65℃
- ・サイズ : 112 (W) × 22.5 (D) × 56 (H) mm
 - * 突起部除く
- ・重量 : 125g
- ・表示部 : MVA液晶

* 改良などのため、本機の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

* 本書記載の画面表示は実際の表示と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントなどの情報提供のお願い

本機でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁におこなわれるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報がありましたら、当社カスタマーサービスまたはe-メールなどでお知らせいただけますようお願いいたします。

カスタマーサービス ☎ 0120-75-6867

(携帯電話・PHS よりおかけの方は、046-275-6867)

e-メール : ranavi@cellstar.co.jp

ホームページ : <http://www.cellstar.co.jp>

* 携帯電話などからe-メールでの情報提供をしていただき、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または「cellstar.co.jp」をドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

はじめに

取り付け

基本操作

画面の説明

各種設定

もっと使いこなす

困ったときは

アフターサービス

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ
お受け取りになり、保証内容を良くお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P85参照）も併せてご記入ください。

製品名：TZ-R001A	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効
ご住所：	
お電話：	



以下の場合保証の対象外となります。

- ① 本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ② 誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③ 火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④ 不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤ 使用中に生じた傷など外觀上の変化
- ⑥ 保存状態が適切でなかった場合
- ⑦ 業務目的でご使用になった場合
- ⑧ バッテリー・ディスプレイ・microSDカードなど消耗品および付属品の交換
- ⑨ 本証の提示がない場合
- ⑩ 本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・ 取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・ 本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保管ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ



フリーダイヤル

0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9:00～17:30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合： 046-275-6867

■メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<https://www.cellstar.co.jp/inquiry/mail.html>

※ご返答までに1週間程度のお時間をいただく場合があります。

■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

販売元 **トヨタ部品大阪共販株式会社**

全国自動車用品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

製造元 **セルスター工業株式会社**